

令和2年度 社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業報告

【概 況】

少子高齢化・核家族化の進行、人口減少などを背景に、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などが増加するとともに、家庭環境や地縁・血縁などの共同体の機能が脆弱化するなど、地域での課題解決が難しくなっています。

また、ひきこもりやDV、児童虐待、権利擁護、生活困窮などの従来の福祉制度の枠組みでの対応が困難な課題が増大するとともに多様化しています。

加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大により日常生活は大きく変化するとともに、緊急事態宣言などにより、経済活動など様々な課題も発生するとともに、個人収入の減少や雇止めなどにより、新たな生活課題が発生しています。

このような中、本会は『あたたかい手 やさしい心で つなげよう福祉の輪』を理念に掲げ、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの実現を目指し、魚沼市における社会福祉事業などの様々な事業を通じて、地域福祉の向上に取り組みしました。

財政面では、新型コロナウイルスによる事業の中止や縮減。介護サービスにおける利用の制限などにより、法人全体で資金収支ベース△5,855 千円、事業活動では当期活動増減差額では△9,808 千円の決算となりました。

◎ 総務部門

理事会などの機関会議を適宜開催するとともに役員・評議員及び事務局との情報交換を行い、役員主導によるガバナンスの強化に取り組みしました。また、平成29年度に策定した「中期経営計画・実行計画」の中間の評価を行い、第2次計画策定の準備を行いました。

人事管理・人材育成では、システムの検証を行いながら、人事考課の導入に向けたプロジェクトチームにより検討を行いました。

その他、事務局拠点の移転を含めた組織改革については、関係する団体及びボランティア団体に説明を行いました。多くの質問意見があり、市と協議し令和3年4月の事務局移転を中止することとなりました。今後は、中期経営計画（仮称）や関連する組織・財政計画策定などの中で、関係団体等の協力を得ながら検討を進めることとします。

◎ 地域福祉部門

誰もが安心して地域で生活できる地域共生社会を実現するために、地域住民や関係団体と連携・協働を図りながら活動を展開しました。

また、身寄りのない人への支援に関するガイドラインを策定するとともに、その過程を通じて、医療・介護・福祉・行政等とのパートナーシップの強化が図られました。

◎ 介護福祉部門

介護福祉事業の経営基盤を強化することを目的に、第2期介護福祉事業中長期計画を策定しました。また、指定管理施設を更新申請し、通所介護事業所は、5年間の指定を受けました。

訪問介護事業及び居宅介護支援事業の在り方の検討については、法人の移転集約が行われなかったことから、検討にはいたりませんでした。

その他、令和２年度は、予想だにしていなかった新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言から始まり、コロナ禍において事業を継続するための知識や技術、発想の転換等を求められた１年でもありました。

以下、令和２年度に掲げた事業計画区分ごとに報告します。

法人全体

単位:円

科 目	総 計		
	予算	決算	差異
会費収入	9,867,000	9,937,000	△ 70,000
経常経費寄附金収入	1,244,000	1,797,933	△ 553,933
経常経費補助金収入	92,209,000	92,798,320	△ 589,320
受託金収入	101,943,000	96,644,728	5,298,272
貸付事業収入	450,000	311,000	139,000
事業収入	8,532,000	7,772,746	759,254
介護保険事業収入	401,159,000	373,370,855	27,788,145
障害福祉サービス等事業収入	8,858,000	8,542,460	315,540
その他の事業収入	108,000	171,500	△ 63,500
借入金利息補助金収入	49,000	49,449	△ 449
受取利息配当金収入	70,000	27,402	42,598
その他の事業収入	5,594,000	6,537,526	△ 943,526
事業活動収入計 (1)	630,083,000	597,960,919	32,122,081
人件費支出	486,447,000	469,609,608	16,837,392
事業費支出	130,000,000	111,471,801	18,528,199
事務費支出	25,322,000	17,658,348	7,663,652
利用者負担軽減額	4,000	0	4,000
その他の支出	1,498,000	1,463,724	34,276
貸付事業支出	300,000	165,000	135,000
助成金支出	1,448,000	1,448,000	0
支払利息支出	50,000	49,449	551
流動資産評価損等による資金減少額	125,000	0	125,000
事業活動支出計 (2)	645,194,000	601,865,930	43,328,070
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 15,111,000	△ 3,905,011	△ 11,205,989
施設整備等補助金収入	4,168,000	4,167,531	469
施設整備等収入計 (4)	4,168,000	4,167,531	469
設備資金借入金元金償還支出	4,168,000	4,167,531	469
固定資産取得支出	2,454,000	2,099,020	354,980
ファイナンス・リース債務の返済支出	5,434,000	5,369,028	64,972
施設整備等支出計 (5)	12,056,000	11,635,579	420,421
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 7,888,000	△ 7,468,048	△ 419,952
基金積立資産取崩収入	48,856,000	49,622,528	△ 766,528
その他の活動による収入	770,000	404,098	365,902
その他の活動収入 計 (7)	49,626,000	50,026,626	△ 400,626
基金積立資産支出	500,000	6,485	493,515
積立資産支出	40,013,000	40,024,681	△ 11,681
その他の活動による支出	4,614,000	4,477,440	136,560
その他の活動支出 計 (8)	45,127,000	44,508,606	618,394
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	4,499,000	5,518,020	△ 1,019,020
予 備 費 (10)	5,100,000	0	5,100,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 23,600,000	△ 5,855,039	△ 17,744,961

I. 社会福祉事業

1. 法人運営事業

(1) 法人運営事業

① 組織基盤の確立

ア 執行機関等

コロナ禍の中、状況に応じて理事会、評議員会及び委員会を適宜開催しましたが、一部の会議は書面議決となりました。計画していた評議員・役員による支所・事業所等の視察などの研修は中止となりました。

a 理事会

	期 日	会 場
第1回	5月27日	(書面決議)
第2回	9月4日	小出ボランティアセンター
第3回	10月5日	小出ボランティアセンター
第4回	11月26日	(書面決議)
第5回	2月12日	小出ボランティアセンター
第6回	3月18日	小出ボランティアセンター

b 評議員会

	期 日	会 場	備 考
第1回	6月12日	(書面決議)	定時評議員会
第2回	12月4日	(書面決議)	臨時評議員会
第3回	3月29日	小出ボランティアセンター	臨時評議員会

c 監査

	期 日	内 容	会 場
第1回	5月15日	令和元年度事業及び財務経理状況の監査	小出ボランティアセンター
第2回	11月26日	令和2年度上半期の事業及び財務監査	小出ボランティアセンター

d 評議員選任・解任委員会

	期 日	内 容	会 場
第1回	10月6日	魚沼市社会福祉協議会評議員の選任について	小出ボランティアセンター

e 役員研修の実施

期 日	内 容	会 場
10月14日	第70回新潟県民福祉大会	新潟テルサ

新潟県民福祉大会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事業規模が縮小されたことから人数を制限して参加しました。また、支所・事業所視察研修(評議員・役員)

及び市町村社協会長視察研修は開催中止となりました。

イ 専門委員会の開催

本会の円滑な運営を図るため、適宜開催しました。

α 企画調整委員会

	期 日	内 容	会 場
第1回	5月19日	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う理事会・評議員会の開催について ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会会費の取りまとめについて ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事会案について	小出ボランティアセンター
第2回	6月24日	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の影響について ・組織機構の検討について	小出ボランティアセンター
第3回	8月27日	・社協事務局移転に伴う地区民児協説明会について ・第2回理事会議案について	小出ボランティアセンター
第4回	10月1日	・社協事務局移転に伴う説明会について ・特定非営利活動法人うおぬま防災ネットワークへの加入について	小出ボランティアセンター
第5回	10月8日	・10月5日理事会議論の整理について ・市長との面談の整理について ・今後の対応、検討について	小出ボランティアセンター
第6回	11月18日	・第4回理事会議案について	小出ボランティアセンター
第7回	12月17日	・魚沼市社会福祉協議会の事務所の位置を考える会との懇談及び事前・事後打合せ会	小出ボランティアセンター
第8回	1月7日	・小出ボランティアセンター・広神老人福祉センター指定管理申請に伴う、指定管理期間と事務局移転（集約）の考え方・スケジュールについて	小出ボランティアセンター
第9回	2月5日	・第5回理事会議案について ・令和3年度組織機構・職員体制について	小出ボランティアセンター
第10回	3月11日	・第6回理事会議案について ・役員・評議員改選日程等について ・令和3年度会議等日程について	小出ボランティアセンター
第11回	3月29日	・理事等選出区分について	小出ボランティアセンター

b 生活福祉資金貸付調査委員会

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	7 月 17 日	・委員長の選任 ・貸付状況及び償還状況 ・その他	小出ボランティアセンター
第 2 回	1 月 21 日	・貸付状況及び償還状況	小出ボランティアセンター

c 第三者委員による情報交換会
コロナ禍のため未開催

d 安全衛生委員会

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	9 月 30 日	・職場巡視結果報告から得た環境整備について（職場巡視；伊米ヶ崎デイサービスセンター） ・ストレスチェックの実施及び今年度の計画について	小出ボランティアセンター

e 法人後見事業運営委員会

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	5 月 7 日	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
第 2 回	8 月 6 日	・受任に関する審査（1 件） ・令和元年度事業報告について ・受任ケースの報告について	小出ボランティアセンター
第 3 回	11 月 19 日	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
第 4 回	2 月 18 日	・受任に関する審査（2 件） ・受任ケースの報告について ・令和 3 年度法人後見事業運営委員会の開催予定について	小出ボランティアセンター

f 住民参加型在宅福祉サービス事業運営委員会

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	5 月 14 日	・住民参加型在宅福祉サービス事業実績報告 ・住民参加型在宅福祉サービス事業実施要綱の一部改正について	（書面協議）
第 2 回	9 月 25 日	・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動への対応について ・住民参加型在宅福祉サービス事業実績報告について	小出ボランティアセンター

		・生活支援サービスに対する提案について	
第3回	2月19日	・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動への対応について ・住民参加型在宅福祉サービス事業実績報告について ・社会貢献事業について ・令和3年度事業の実施にあたって	小出ボランティアセンター

ウ 中期経営計画の中間評価及び後期計画の実践

組織強化に向け中期経営計画・実行計画の中間評価を理事会に報告し、後半の計画の実行を行いました。

a 中期経営計画の中間評価と報告

	期 日	内 容	会 場
第1回	4月13日	・実行計画の個々の評価と報告書について ・実行計画の評価について	小出ボランティアセンター

※中間評価報告書は、第5回理事会（令和3年2月12日開催）及び臨時評議員会（令和3年3月29日開催）にて報告しました。

エ 職員資質向上の取り組み

組織内研修では、コロナ禍の中職員研修委員会による職員全体研修を行うとともに、県社協等の外部研修会にはWebを中心に参加し職員の資質向上に努めました。また、人事考課制度の導入に向け、社会保険労務士の指導の下、新たに人事考課制度検討プロジェクトチームを立ち上げ検討を行いました。

a 職員研修の実施

・職員研修委員会の開催

	期 日	内 容	会 場
第1回	5月14日	・令和2年度研修委員会長の選出について ・令和2年度研修委員会事業報告について ・令和2年度研修委員会事業計画について	小出ボランティアセンター
第2回	7月3日	・令和2年度職員研修について ①コロナに対抗して ～法人内職員研修を作る～	小出ボランティアセンター
第3回	2月3日	・次年度以降の研修委員会活動について	小出ボランティアセンター

・職員研修委員会の企画による職員全員を対象とした研修会

	期 日	内 容	会 場
第1回	10月22日	研修：「オンライン会議ソフト『Zoom』を体験しよう」 講師：株式会社ソフト・ドゥ	小出ボランティアセンター

・安全衛生委員会の企画による職員全員を対象とした研修会

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	11 月 9 日	演題：「日常に役立つ健康管理と 腰痛予防体操」 講師：上村医院院長及びEスポ 星 氏	小出ボランティアセンター 他 web 活用

b 人事考課制度導入に向けた取り組み

	期 日	内 容	会場等
	5月29日	係長、管理者、支所長への説明 ・令和2年度重点事項について ・人事考課制度について説明 ～パートナーズプロジェクト社会保険労務士法人～	小出ボランティアセンター
	7月10日	・プロジェクトチーム発足	各課対応
	7月20日	・仕事の洗出し	全員作業
第 1 回	9月 1 日	プロジェクトチーム会議 ・人事考課制度策定手順説明 ・職務基準書作成	小出ボランティアセンター
第2回	10月29日	プロジェクトチーム会議 ・職務基準書作成	小出ボランティアセンター
第3回	12月25日	プロジェクトチーム会議 ・職務基準書・考課表の作成	小出ボランティアセンター
第 4 回	2月26日	プロジェクトチーム会議 ・職務基準書・考課表の作成	小出ボランティアセンター

c その他

- ・新潟県内社協職員連絡会の開催 4回（5/23、6/7、9/4、1/31）

d 資格手当の支給開始のため資格取得助成の廃止

e 個別面談の実施

f 実習生等の受入

- ・地域医療臨床研修医受入
- ・北里大学保健衛生専門学院公衆衛生看護学臨地実習の受入（4名受入）
- ・社会福祉士実習生の受入（2名、新潟青陵大学）

② 財政基盤の確立

ア 会員の加入促進

コロナ禍によるとりまとめに関する意見をいただき、社協活動の実態やその財源、あるいは使途等について、連合自治会長会議や嘱託員介護が中止となったことから、積極的な周知・広報ができず、今までにない一般会員数及び特別会員数の減少となってしまいました。目標とする全世帯に対する70%以上の加入率の達成は困難でした。（令和3年3月

10日現在 13,254 世帯に対し、加入率 64.26%)

a 一般会員加入実績

	本年度		前年度	
	会員数 (人)	金額 (円)	会員数 (人)	金額 (円)
堀之内	1,965	2,008,000	1,992	2,033,000
小 出	2,671	2,686,500	2,723	2,728,500
湯之谷	1,300	1,305,500	1,324	1,326,500
広 神	1,624	1,784,000	1,610	1,772,000
守 門	670	713,000	692	735,000
入広瀬	288	290,000	301	303,000
	8,518	8,787,000	8,642	8,898,000

b 特別会員加入実績

	本年度		前年度	
	会員数 (人)	金額 (円)	会員数 (人)	金額 (円)
堀之内	83	246,000	86	253,000
小 出	140	556,000	150	587,000
湯之谷	34	71,000	34	71,000
広 神	54	152,000	58	159,000
守 門	15	38,000	15	38,000
入広瀬	16	61,000	16	61,000
	342	1,124,000	359	1,170,000

イ 半期・年間経営分析の実施

年度半期での経営分析、監査を実施しました。

ウ 月次実績会議の開催

介護福祉事業では、月次会議を開催し収支分析を行うとともに経営状況を確認しました。

③ 広報活動の充実

機関誌の定期発行及びホームページ活用による広報及び啓発を行いました。

ア 会報「社協だより」(年4回発行)

号 数	発 効 日	備 考
第 71 号	令和2年 6月 25 日	全戸配布 特別会員郵送
第 72 号	令和2年 9月 25 日	
第 73 号	令和2年 12月 25 日	
第 74 号	令和3年 3月 25 日	

イ その他

- ・ホームページやフェイスブックの運用
- ・ラジオスポット放送や民間情報誌の活用

- ・マスコットキャラクター「ふくびい」の活用
- ・マスコミ等への情報提供による新聞掲載
- ・魚沼市ホームページによる情報提供
- ・事業パンフレット等の効果的な活用

④ 関係機関・団体との連携協力

地域福祉・介護福祉事業の円滑な推進を図るとともに、地域の福祉課題の共有・解決に向け、関係機関・団体との連携・協力を行いました。

ア 共同募金事業への協力

会費同様、共同募金額の実績が年々減少してきているため、配分金で実施している事業の必要性を広くPRするとともに、より効率的な事業執行に努めました。

a 新潟県共同募金会評議員会の開催

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	6 月 30 日	・令和元年度事業報告に関する件 ・令和元年度決算に関する件 ・理事の選任に関する件 ・基本財産（旧新潟県社会福祉会館）の処分について	新潟ユニゾン プラザ

b 魚沼市共同募金委員会運営委員会の開催

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	5 月 27 日	・令和元年度魚沼市共同募金委員会募金運動実施報告及び収支決算について ・魚沼市共同募金委員会運営委員会運営委員の選任（補欠専任）について ・令和 2 年度魚沼市共同募金委員会募金運動事業計画（案）及び収支予算（案）について	書面決議

c 助成審査委員会の開催

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	7 月 9 日	・令和 2 年度福祉団体及びボランティア団体の助成内容審査について ・令和 2 年度魚沼市社会福祉協議会の地域助成申請内容審査について	小出ボランティアセンター

d 連合自治会長会議、嘱託員会議での啓発活動

例年実施されている、連合自治会長・嘱託員会議がコロナ禍により中止となりできませんでした。

イ その他、関係機関・団体との連携協力

地域福祉・介護福祉事業の円滑な推進を図るとともに、地域の福祉課題の共有・解決に向け、関係機関・団体との連携・協力を行いました。

- a 新型コロナ禍における地域福祉活動の情報共有オンライン会議 1回(6/5)
- b 保健・医療・福祉ネットワークへの参画
 - ・行政・社協・民児協三者懇談会 1回(7/22)
 - ・魚沼市相談機関ネットワーク会議 1回(7/15)
 - ・魚沼市地域ケア推進会議(政策調整部会) 2回(8/19、2/17)
 - ・魚沼市自立支援協議会全体会 3回(6/30、12/9、3/12)
 - ・精神保健福祉ケース検討会 1回(9/3)
 - ・魚沼市子ども・子育て会議 2回(6/29、3/12)
 - ・ワーリャの家運営推進会議 2回(7/16、9/17)
 - ・桜の園運営推進会議 2回(7/16、9/17)

ウ 老人福祉大会の開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催中止

エ 魚沼市民生委員児童委員協議会との連携

- ・生活福祉資金及び小口資金貸付事業の推進、意見書作成等の協力
- ・除雪援助事業、ふれあい配食サービス事業の該当者の受付及び推進等の協力
- ・共同募金運動の協力
- ・地域福祉活動等の推進及び協力
- ・地区民生委員児童委員協議会活動との連携

オ その他の関係機関・関係団体との連携、協力等

魚沼福祉会、魚野福祉会、魚沼更生福祉会、魚沼地域福祉会、家族会

身体障害者福祉協議会、手をつなぐ育成会、遺族会、老人クラブ連合会ほか

(2) 事務局及び拠点の集約に関する説明会の開催

昨年来検討委員会を立上げ、提言書にまとめた計画を、会長及び副会長、事務局による事務局拠点移転計画の説明会を市と一緒に開催しました。説明会の中での反対意見が強く、市と協議し令和3年4月の移転は中止することとなりました。

① 魚沼市民生委員児童委員協議会への説明会

地 区	開 催 日	会 場
市民児協	7月17日(金)	小出ボランティアセンター
堀之内地区	8月18日(火)	堀之内公民館
湯之谷地区	8月19日(水)	小出ボランティアセンター
広神地区	8月24日(月)	広神コミュニティセンター
小出地区	8月24日(月)	小出ボランティアセンター
入広瀬地区	8月28日(金)	入広瀬保健センター
守門地区	8月17日(月)	守門健康センター

② 福祉団体への説明会

地区	開催日	参加団体	会 場
入広瀬地区	9月 7日	調理・配達ボランティア	入広瀬保健センター

		入広瀬地区手をつなぐ育成会 入広瀬地区老人クラブ連合会 入広瀬災害ボランティア	
広神地区	9月 8日	魚沼市家族会 広神地区遺族会 魚沼市遺族会 手をつなぐ育成会 花みずきの会（今泉） ひまわりの会（並柳） 広神地区老人クラブ連合会	広神コミュニティセンター
守門地区	9月 10日	調理・配達ボランティア	守門健康センター
小出地区	9月 11日	地域友愛ボランティア 給食ボランティアの会 運転ボランティアの会 魚沼市音声訳の会	小出ボランティアセンター
湯之谷地区	9月 14日	調理ボランティアの会 配達ボランティアの会 湯之谷地区手をつなぐ育成会 湯之谷地区遺族会 湯之谷収集ボランティア 湯之谷縫物ボランティア 湯之谷行事ボランティア	小出ボランティアセンター
堀之内地区	9月 15日	調理ボランティアの会 配達ボランティアの会 ほりのうちボランティア 堀之内地区老人クラブ連合会 堀之内地区手をつなぐ育成会 堀之内地区遺族会	堀之内公民館

③ 地域の茶の間への説明会

地区	開催日	内 容	会 場
守門・入広瀬地区	9月 24日（木） 13：30～	・事務局及び拠点の見直しについて	守門健康センター
堀之内・小出・湯之谷・広神地区	9月 30日（水） 13：30～	・ //	小出ボランティアセンター

（3）ふれあい講座事業（ふくしの宅急便）

地域住民・自治会・団体等が主催する集会等に職員を講師として派遣し、地域福祉活動に関する説明又は職務に関連して習得した専門知識・技能を活かした講座等を行いました。

	開催日	講座名（テーマ）	依頼団体	参加者数
1	6月 3日	市内の福祉事業について知る	須原小学校	14人

2	7月14日	茶の間における介護予防	上ノ原じょんのびサロン	19人
3	7月17日	介護の仕事について学ぶ	須原小学校	18人
4	10月12日	エンディングノートの活用	堀之内公民館	8人
5	11月12日	社協とは	入広瀬小学校	16人
6	11月25日	介護施設の機能やサービスを知る	コミ協権現堂	17人
7	12月12日	レクリエーションを楽しみながら機能訓練	葎沢シニアクラブ	10人
8	12月15日	エンディングノートの活用方法	湯之谷地区民児協	16人
9	12月18日	介護の豆知識	コミ協権現堂	12人
10	3月17日	福祉学習体験	魚沼市学校教育課	5人
合 計				135人
前年度（18回）				571人

（４）火災等被災者への見舞い

火災等の発生により直接被害を受けた個人又は世帯に対し、見舞金を支給しました。

- ・全焼 1件（前年度 1件） ・半焼 0件（前年度 0件）
- ・床上浸水 0件（前年度 0件）

【事業の成果】

コロナ禍による事業の休止や施設の休館、感染症予防対策を講じるための経費の執行が当初予算を大幅に上回ったことに伴う補正の編成など、財政的に大変厳しい年度となりました。

事業や研修等においても、外部研修等は中止となり、参加することができませんでしたが、インターネットを利用した Web 会議・研修の機会を作ることによって当初の計画は概ね 70%程度執行することができました。

今年度の重点事業であった人事考課制度の構築及び同一労働同一賃金への対策は、外部の社会保険労務士の指導・助言により計画通りに進行することができました。

また、事務局拠点の集約と組織改革については、関係団体・ボランティア団体等に説明会を行いました。多くの意見・質問が寄せられ市との協議により、令和 3 年 4 月での事務局拠点及び組織改革は中止することとなりました。

【今後の課題】

次年度以降は令和 2 年度の結果を踏まえ、次期の経営計画の策定に着手し、5 年後を見据えた計画内容を多くの関係者に周知しながら一緒に策定することとします。

法人運営事業

単位:円

科 目	法人運営		
	予算	決算	差異
会費収入	3,577,000	4,042,000	△ 465,000
経常経費寄附金収入	500,000	604,008	△ 104,008
経常経費補助金収入	22,950,000	23,350,000	△ 400,000
借入金利息補助金収入	49,000	49,449	△ 449
受取利息配当金収入	60,000	14,729	45,271
その他の事業収入	170,000	144,346	25,654
事業活動収入計 (1)	27,306,000	28,204,532	△ 898,532
人件費支出	23,565,000	23,108,443	456,557
事業費支出	1,342,000	708,834	633,166
事務費支出	16,056,000	10,608,414	5,447,586
支払利息支出	50,000	49,449	551
事業活動支出計 (2)	41,013,000	34,475,140	6,537,860
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 13,707,000	△ 6,270,608	△ 7,436,392
施設整備等補助金収入	4,168,000	4,167,531	469
施設整備等収入計 (4)	4,168,000	4,167,531	469
設備資金借入金元金償還支出	4,168,000	4,167,531	469
固定資産取得支出	340,000	214,500	125,500
施設整備等支出計 (5)	4,508,000	4,382,031	125,969
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 340,000	△ 214,500	△ 125,500
事業区分間繰入金収入	10,000,000	0	10,000,000
拠点区分間繰入金収入	45,000,000	40,008,008	4,991,992
その他の活動収入 計 (7)	55,000,000	40,008,008	14,991,992
基金積立資産支出	500,000	6,485	493,515
積立資産支出	40,013,000	40,012,008	992
事業区分間繰入金支出	6,720,000	3,393,011	3,326,989
拠点区分間繰入金支出	1,502,000	621,524	880,476
その他の活動による支出	36,000	36,000	0
その他の活動支出 計 (8)	48,771,000	44,069,028	4,701,972
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	6,229,000	△ 4,061,020	10,290,020
予 備 費 (10)	500,000	0	500,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 8,318,000	△ 10,546,128	2,228,128

2. 地域福祉事業

(1) 地域福祉事業

① 第2次魚沼市地域福祉推進計画の推進

中間年である令和2年度も、地域住民や地域の関係団体等と十分な連携・協働を図りながら、地域の実情に即した活動を展開した。また、活動計画の推進委員会（仮称）の設置について、現計画の評価方法及び次期計画策定の構成メンバー等、体制づくりを検討したが、立ち上げまでには至らなかった。

ア 進行管理の仕組みと評価指標

	期 日	内 容	参加者数
第1回	10月9日	・講義：「SDGs de 地域創生」 ・講師：有限責任事業組合 まちラボ 研究員／ワークショップデザイナー 石本 貴之 氏	37人
第2回	10月16日	・講義：ローカルSDGs「5GOAL for 黒部」の挑戦 ・講師：黒部市社会福祉協議会 総務課長補佐 小柴 徳明 氏	38人
第3回	10月23日	・講義：「アクションプラン（目標と活動の可視化）の策定」に向けて ・講師：NPO 法人 明日育 常務理事／事務局長 長井 一浩 氏	28人

② 福祉協力員制度（仮称）の検討

見守りや支援が必要な人を地域で支えるために、福祉協力員（仮称）の設置に向け、住民参加型在宅福祉サービス事業運営委員会や内部での検討を行いました。

③ 地域アセスメントの活用

ア 地域共生社会実現に向けた地域福祉活動の展開に関する検討委員会

	期 日	内 容	備 考
第1回	6月12日	・「地域アセスメントを取り入れた地域福祉活動推進ガイドライン（仮称）」原稿の確認について ・今後のスケジュールについて	オンライン会議
第2回	7月30日	・「地域アセスメントを取り入れた地域福祉活動推進ガイドライン（仮称）」原稿の確認について ・今後のスケジュールについて	オンライン会議
第3回	9月18日	・「地域アセスメントを取り入れた地域福祉活動推進ガイドライン（仮称）」原稿の確認について ・今後のスケジュールについて	オンライン会議

第4回	11月6日	・「地域アセスメントを取り入れた地域福祉活動推進ガイドライン（仮称）」原稿の確認について ・今後のスケジュールについて	オンライン会議
第5回	12月25日	・「地域アセスメントを取り入れた地域福祉活動推進ガイドライン」（第3校）の確認について ・「地域アセスメントを取り入れた地域福祉活動推進ガイドライン」に基づく市町村社協向け研修会の開催について	オンライン会議

イ 地域福祉推進セミナーの開催

	期 日	内 容	備 考
第1回	1月29日	・講演「地域アセスメントに基づいた地域支援の必要性について」 ・実践報告「県内市町村社協における地域福祉活動の実践事例」	オンライン会議

ウ 地域アセスメントを活用した地域分析

個別支援担当と地域支援担当の連携をはじめ、地域情報や職員のスキル、知識、経験を組織の財産として共有する意義の定着を図るため、支所単位で分析会議を実施した。

④ 地域福祉分野におけるICT利活用

- ・web データベース型の業務アプリ構築検討会（オンライン会議） 8回
(6/29、8/19、9/25、10/14、11/9、1/18、2/24、3/23)
- ・黒部社協オンライン化実験室（オンライン会議） 4回
(4/28、5/28、7/29、9/2)

⑤ 事務局相談

多様化する生活課題に応えるため、関係機関の協力を得て事務局相談を行いました。

ア 相談援助件数

a 課題別件数

	本年度	前年度
健康に関すること	1,324	1,205
老後に関すること	271	370
生きがいに関すること	586	798
子育てに関すること	41	18
介護の問題	356	377
借金や債務整理に関すること	564	457
やり繰りに関すること	1,602	1,020
隣近所、地域との関係	626	391
住宅のこと	192	89

地域の治安のこと	29	13
移動手段のこと	45	83
生活の困りごとに関すること	4,042	4,062
災害に関すること	20	20
除雪に関すること	246	96
人権、虐待問題に関すること	51	27
仕事に関すること	324	164
ひきこもりや不登校に関すること	55	59
財産管理や相続に関すること	574	524
学習支援に関すること	263	178
合 計	11,211	9,951

b 相談経路

	本年度	前年度
当事者	1,689	1,964
地域住民	669	674
民生委員・児童委員	750	530
福祉団体	31	49
行政（福祉）	349	297
行政（福祉以外）	33	42
集落支援員	53	24
地域包括支援センター	97	119
介護保険事業所	358	431
障害福祉サービス事業所	275	255
医療機関	57	47
法律関係者	26	5
学校	101	62
その他	91	102
	4,579	4,601

⑥ 民間助成金の活用

民間助成金等を活用し、先駆的な事業に取り組みました。

- ・県民たすけあい基金助成金の活用

⑦ 関係機関・関係団体との連携・協力

本会の事業と相互協力できる関係づくりに努めました。

- ア 新潟県共同募金委員会魚沼市支会との連携・協力
- イ 魚沼市民生委員児童委員協議会との連携・協力
- ウ 魚沼市ボランティア連絡協議会との連携・協力

⑧ 市内社会福祉法人の連携・協働

新型コロナウイルスの感染拡大により、情報交換等の会議を開催することはできませんで

した。

【事業の成果】

地域が抱える様々な課題を、他人毎ではなく地域の課題として捉え、地域住民とともにお互いに支え合う「地域力」の強化を図るため、地域住民や関係団体等と十分な連携・協働を図りながら、地域の実情に即した活動を展開しました。相談件数が前年度比 26%の増加でした。

【今後の課題】

今後の地域福祉推進のためには、行政や地域住民などと協働することがさらに求められ、そのためにはミッションの共有が不可欠となります。地域の情報を蓄積・分析するため、ヒアリング調査を実施するとともに、ＩＣＴを利活用した取り組みを行います。

地域福祉事業

単位:円

科 目	地域福祉		
	予算	決算	差異
会費収入	5,500,000	5,500,000	0
経常経費寄附金収入	300,000	661,147	△ 361,147
経常経費補助金収入	60,107,000	60,100,000	7,000
事業収入	0	0	0
その他の事業収入	1,192,000	1,775,388	△ 583,388
事業活動収入計 (1)	67,099,000	68,036,535	△ 937,535
人件費支出	69,880,000	69,473,373	406,627
事業費支出	3,494,000	2,768,738	725,262
事務費支出	826,000	293,704	532,296
支払利息支出			0
事業活動支出計 (2)	74,200,000	72,535,815	1,664,185
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 7,101,000	△ 4,499,280	△ 2,601,720
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
積立資産取崩収入	8,280,000	9,038,520	△ 758,520
事業区分間繰入金収入	1,361,000	0	1,361,000
その他の活動による収入	767,000	404,098	362,902
その他の活動収入 計 (7)	10,408,000	9,442,618	965,382
サービス区分間繰入金支出	1,861,000	1,587,342	273,658
その他の活動による支出	3,127,000	3,126,240	760
その他の活動支出 計 (8)	4,988,000	4,713,582	274,418
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	5,420,000	4,729,036	690,964
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 1,681,000	229,756	△ 1,910,756

(2) 成年後見支援事業

① 相談及び申立手続きの支援

	相談件数（延べ）
制度説明	16件
申立全般に関する相談	42件
親族後見支援	0件
カンファレンス出席	2件
後見人等候補者の依頼（受任依頼）	3件
継続支援（定期訪問、諸手続き）	512件
計	575件

③ 普及啓発

ア 福祉関係者のための成年後見制度研修会

期 日	内 容	参加者数	会場
2月 2日	・講義「成年後見制度の基礎」 新潟家庭裁判所 長岡支部 庶務課長 酒井達弥氏 書記官 草間 学氏 ・実践報告「地域における後見活動」 ほりのうち登記・司法事務所 司法書士 関丈祐氏	32人	小出ボランティアセンター

イ 私のあんしんノート「あいぶっく」の改訂版（1000部）作成

成年後見制度の普及啓発とこれまでの自分を振り返り、この先の願いを書き記すエンディングノート（改訂版）を作成した。

③ 法人後見等の受任

ア 受任状況

	後見	保佐	補助	計
認知症高齢者	4件	1件	0件	5件
知的障がい者	6件	0件	0件	6件
精神障がい者	1件	0件	0件	1件
計	11件	1件	0件	12件
前年度	10件	1件	0件	11件

*新規受任件数 1件（知的障がい者・後見類型）（前年度 1件）

*終了件数 4件（認知高齢者・後見類型）（前年度 1件）

イ 法人後見事業運営委員会

有識者（弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、行政機関）で構成する運営委員会を開催し、法人後見事業の取り組みに関する助言や指導、社協を成年後見人等候補者とする申立ての適否などの審査を受けました。

④ 身寄りのない人への支援に関するガイドラインの策定

ア 策定委員会の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	8月 3日	・ガイドライン策定進捗状況及び今後のスケジュールについて ・ガイドライン、概要版、支援シートの検討	小出ボランティアセンター
第2回	9月 1日	・ガイドライン、概要版、支援シートの検討 ・意見交換	魚沼市役所本庁舎

イ 普及啓発

期 日	内 容	参加者	開催場所
10月21日	地域医療魚沼学校 楽語い講座 ・講義「ガイドラインについて」	49人	魚沼市立小出病院
12月14日	権利擁護支援フォーラム ・基調講演「身寄り問題の現状」～地域共生社会の実現に向けて～ 講師 NPO法人つながる鹿児島 理事長 芝田淳氏 ・報告「ガイドライン策定の経緯」 報告者 魚沼市社協 生活支援係 ・パネルディスカッション「ガイドラインに期待すること」 登壇者 魚沼市小出病院 院長 布施克也氏 片沼・橋本法律事務所 弁護士 片沼貴志氏 身寄りなし問題研究会 代表 須貝秀昭氏 コーディネーター NPO法人つながる鹿児島 理事長 芝田淳氏	88人	小出ボランティアセンター
12月15日	総合的な権利擁護推進セミナー・長野 ～身寄りなき時代 家族機能に代わる社会保証のあり方を考える～ ・実践報告「ガイドライン策定経緯・概要」	150人	長野県社会福祉協議会
1月23日	新潟県社会福祉士会 高齢者支援班・魚沼地区勉強会～身寄りのない方への支援～ ・講義「ガイドラインについて」	30人	オンライン研修
2月24日	小出地区民児協定例会 ・講義「ガイドラインについて」	28人	小出ボランティアセンター

ウ 身寄りのない人への支援に関するガイドライン活用講座（オンライン研修）

- ・講 義 「ガイドライン、支援シートの解説」
- 演 習 「役割分担シートの記入」
- ・開催回数 3回（3/2、3/19、3/29）

⑤ 職員研修の実施

- ・あいち権利擁護ネットワーク権利擁護研修会（8/30. オンライン研修）
- ・全国権利擁護支援ネットワーク実践交流会（9/5. オンライン研修）
- ・トーキングマット基礎研修（9/6. 新潟ユニゾンプラザ）
- ・法人後見専門員スキルアップ研修会（10/15. オンライン研修）
- ・法人後見実施団体等による意見交換会（10/15. オンライン会議）
- ・成年後見制度利用促進体制整備研修会（基礎研修）（10/29-30. オンライン研修）
- ・成年後見制度利用促進体制整備研修会（応用研修）（11/10-12. オンライン研修）
- ・成年後見制度担当者研修会（11/26. 新潟ユニゾンプラザ）
- ・特定非営利活動法人十いろ実務者向けセミナー（11/28. オンライン研修）
- ・AS-J 権利擁護支援従事者研修（1/9. オンライン研修）
- ・成年後見制度法人後見推進研修会（1/20. 新潟ユニゾンプラザ）
- ・AS-J 地域権利擁護ネットワークフォーラム（1/30. オンライン研修）
- ・全国権利擁護支援ネットワーク全国フォーラム（2/14. オンライン研修）
- ・SDM-Japan プレゼンツ意思決定支援実践フォーラム2021
(3/13-14. オンライン研修)

【事業の成果】

成年後見制度の相談及び申立手続きの支援を行うことにより、制度利用に繋がったケースがありました。また、医療・介護・生活支援などを提供する専門職と連携・協働を行うため策定委員会を設置し、魚沼市における身寄りのない人への支援に関するガイドラインの策定を行うことが出来ました。

【今後の課題】

身寄りのない人への支援に関するガイドラインの普及啓発を行うため、ガイドラインを活用した支援の事例を検証し、より現場に即したものになるよう見直し・検証を行います。また、死後事務委任契約やトーキングマットを活用した意思決定支援に向けた取り組みの検討を行います。

地域福祉事業

単位：円

科 目	成年後見支援		
	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	30,000	28,790	1,210
受託金収入	990,000	990,000	0
事業収入	2,800,000	3,000,600	△ 200,600
事業活動収入計（1）	3,820,000	4,019,390	△ 199,390
人件費支出	1,860,000	1,860,000	0
事業費支出	2,320,000	1,552,248	767,752
事務費支出	320,000	297,410	22,590
事業活動支出計（2）	4,500,000	3,709,658	790,342
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 680,000	309,732	△ 989,732
予 備 費（10）	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 680,000	309,732	△ 989,732

(3) 共同募金配分金事業

① 地域の茶の間事業の実施

高齢者や障害者、子育て中の親子等が、地域の中で気軽に出かけられる小規模な憩いの場づくりを目指し、町内（集落）、民生委員・児童委員、ボランティア等に行われる交流活動の支援を行いました。

活動費の助成 51 団体

【事業活動支出額 790,000 円】

団 体 名	地区	開催回数	延参加者数	新規
寿はつらつ会	堀之内	4 回	29 人	
脳はつらつスマイルクラブ	堀之内	23 回	245 人	○
城下お茶会	堀之内	4 回	126 人	
城下はつらつ会	堀之内	8 回	125 人	
原ふれあい茶話会	堀之内	5 回	109 人	
魚野地クローバ会	堀之内	1 回	11 人	
浦町地域友愛ボランティアの会	小 出	1 回	25 人	
たんぽぽの会	小 出	3 回	62 人	
横町お茶の間サロン	小 出	1 回	16 人	
羽根川友愛ボランティアの会	小 出	1 回	16 人	
お茶のみサロン	小 出	4 回	60 人	
大河原の茶の間	小 出	6 回	78 人	
中原友愛ボランティアの会	小 出	4 回	62 人	
なごみの会	小 出	8 回	76 人	
大浦茶の間会	小 出	2 回	16 人	
十日町茶の間会	小 出	4 回	39 人	
茶の間「ゆうあい」	小 出	6 回	103 人	
じょんのびサロン	湯之谷	8 回	143 人	
大沢さわやかひろば	湯之谷	8 回	285 人	
葎沢みんなの茶の間	湯之谷	6 回	101 人	
湯之谷芋川茶の間会	湯之谷	2 回	21 人	
宇津野こぶし会	湯之谷	6 回	45 人	
結の会（下折立）	湯之谷	5 回	83 人	
上折立シニアお茶クラブ	湯之谷	12 回	87 人	
雪華の会	湯之谷	8 回	77 人	
たなか茶話会	広神	1 回	10 人	
老笑会	広神	7 回	84 人	
雁坂下茶ノ間ノ会	広神	3 回	46 人	
小平尾茶の間会	広神	5 回	158 人	
山口さくら会	広神	4 回	23 人	
ひまわりの茶の間	広神	3 回	53 人	
和田絆の会	広神	9 回	67 人	
新保の茶の間	広神	8 回	81 人	
ふれあい茶の間	広神	13 回	126 人	
はつらつ会	広神	21 回	187 人	

池平のお茶の間	広神	8回	88人	
あかっちクラブ	守門	1回	31人	
西村お茶会	守門	5回	63人	
宮原いきいきクラブ	守門	6回	86人	
福山新田地域の茶の間「よらん会」	守門	13回	146人	
渋川お達者会	守門	5回	94人	
長鳥長生き会	守門	4回	74人	
荒貫ふれあいの会	守門	3回	23人	
笑宿	守門	6回	43人	
二分お茶の会	守門	4回	34人	
柿の木お茶会サロン	入広瀬	3回	24人	
楽茶の会	入広瀬	3回	45人	
とわの会	入広瀬	1回	28人	
横根集落地域の茶の間	入広瀬	5回	45人	
仲良し会	入広瀬	1回	9人	
大白川お茶会	入広瀬	2回	36人	
合 計		284回	3,744人	
前年度		724回	11,127人	

② 新入学生記念品贈呈事業

市内の小学校に入学する児童に対し、新入学のお祝いと登・下校時の交通安全の願いをこめて記念品（体操着袋）を贈呈しました。

- ・新入生児童全員に記念品贈呈 対象者 237 人（前年度 243 人）
（赤い羽根キャラクター入り体操着袋・背負いタイプ）

③ 福祉協力校活動費助成事業

市内の幼稚園・保育園、小中学校が福祉協力校として福祉学習が推進されるよう側面的な支援を行いました。また、福祉協力校の諸事業の実施のため、助成金を交付しました。

- ・中学校(3校)、小学校(9校)、幼稚園・保育園(11園) 計 23 校（園）に助成

④ ふれあい配食サービス事業

高齢者世帯や障害者世帯等に対し、ボランティアによる配食サービスを実施することにより見守りと安否確認を行いました。

ア 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合計	前年度
4月	61	59	41	33	34	18	246	225
5月	58	59	39	35	35	18	244	222
6月	57	60	40	37	32	18	244	230
7月	55	61	40	37	34	17	244	231
8月	55	60	45	33	33	16	242	242
9月	56	58	44	35	33	17	243	237
10月	54	58	41	35	37	17	242	237

11月	49	58	40	36	36	19	238	237
12月	50	61	38	38	39	19	245	235
1月	51	57	39	37	40	17	241	234
2月	50	57	38	36	44	16	241	239
3月	48	56	39	36	41	16	236	241

イ 研修会の実施

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、研修会の開催を中止することとした。

ウ その他（新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応）

4月20日から調理ボランティアによる調理を休止し、市内業者に昼食弁当の依頼を行いました。

⑤ 障害者ふれあいクリスマス会

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事業の開催を中止することとした。

⑥ 福祉関係団体業務の支援

福祉関係団体の事務局を担当し、各団体の業務を円滑に進められるよう支援を行いました。

⑦ 広報、啓発事業

赤い羽根共同募金や配分金を財源とした事業内容などの広報活動を行いました。

【事業の成果】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各種事業の中止をせざるを得なかった。また、コロナ禍でも要援護者への見守りや安否確認等を行うため、ふれあい配食サービスでは運転ボランティアや市内業者等の協力を得て、実施を継続することが出来ました。

【今後の課題】

人と人の繋がりを維持し、新たな繋がりを作り出すため、ICTなどを活用した今までの枠にとられない活動の創出とチャレンジが求められています。コロナ禍でも地域住民が安心して事業を展開出来るよう事業継続計画（BCP）の策定を行います。

地域福祉事業

単位:円

科 目	共同募金配分金		
	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	410,000	422,988	△ 12,988
経常経費補助金収入	7,000,000	7,200,320	△ 200,320
事業収入	3,676,000	3,254,100	421,900
その他の収入	20,000	0	20,000
事業活動収入計 (1)	11,106,000	10,877,408	228,592
事業費支出	9,888,000	9,391,026	496,974
事務費支出	162,000	162,000	0
その他の支出	1,498,000	1,463,724	34,276
助成金支出	1,448,000	1,448,000	0
事業活動支出計 (2)	12,996,000	12,464,750	531,250
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 1,890,000	△ 1,587,342	△ 302,658
サービス区分間繰入金収入	1,890,000	1,587,342	302,658
その他の活動収入 計 (7)	1,890,000	1,587,342	302,658
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	1,890,000	1,587,342	302,658
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(4) ボランティアセンター事業

① ボランティアセンターの充実

ア ボランティア登録・調整

- a 登録 999 件（新規 54 件）
- b 調整 197 件（相談・マッチング・打合せ含む）
- c ボランティア保険加入促進

ボランティアが安心して活動に取り組むことができるよう、活動中の事故によるけがや賠償責任などに対応したボランティア保険の加入を促進しました。

- ・登録ボランティア：「ボランティア活動保険」加入（24 件）
- ・単独実施事業等：「ボランティア活動行事保険」加入（4 件）
- ・ふれあい配食サービス他各種事業：「介護保険・社会福祉事業者総合保険」加入

イ ボランティアグループ活動支援

魚沼市ボランティア連絡協議会との連携により、加盟ボランティアへの情報提供、活動支援、各種協働事業を実施しました。

ウ 各種収集活動の啓発

a 使用済み切手

公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会へ寄付し、海外の医療事情に恵まれない人々に医師・看護師・保健師の派遣の費用として活用

b 使用済みテレホンカード

特定非営利活動法人誕生日ありがとう運動本部へ寄付し、知的障害者のための社会啓発活動として活用

c 書き損じ（未使用）ハガキ

社会福祉法人新潟県視覚障害者福祉協会へ寄付し、視覚障害者のための福祉増進のために活用

d 外国のコイン

公益財団法人日本ユニセフ協会へ寄付し、開発途上国の子ども達の生命と健康を守るために活用

エ ボランティア活動器材の貸出

備品名	件数	備品名	件数
車椅子	5	ボッチャ	6
パイプ椅子	25	ピンゴ	2
福祉体験用具 S	3	ノーパンクボール	1
福祉体験用具 M	5	低床玉入れ	2
福祉体験用具 L	3	計	52

オ 24 時間テレビ 43「愛は地球を救う」チャリティー募金活動

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、街頭募金を中止することとしました、

- ・募金受付日：令和 2 年 8 月 24 日

- ・募 金 額：18,490 円（前年度 101,201 円）
- ・受付窓口：社会福祉協議会各支所

カ 新型コロナウイルス感染拡大に伴うボランティア活動

a 堀之内工芸マスク作りボランティア（4 月 27 日～5 月 8 日）

堀之内工芸が地域貢献活動として、布マスクを販売しましたが、大量の注文があり、施設で対応出来ない状況にあったため、37 人のボランティアから約 1,100 枚の布マスクの制作の支援を行っていただきました。

b 布マスクボランティア（5 月 11 日～5 月 29 日）

マスク不足で困っている方を支援するため、47 人のボランティアから 475 枚の布マスクを制作いただきました。

配布先	配布枚数
魚沼学園・魚沼更生園	200 枚
生きがいデイサービス利用者	80 枚
生活困窮者及び日常生活自立支援事業利用者	70 枚
魚沼市立小出郷図書館	35 枚
各社協支所窓口	90 枚

c 笑顔いっぱいプロジェクト（6 月）

市内小学校（9 校）の児童（452 人）が絵手紙を作成し、見守りや安否確認が必要な高齢者や障害者等に応援メッセージを届けました。

d 学生パントリーの協力（8 月 6 日）

新型コロナウイルスの影響で困っている学生のためのお米支援を、魚沼ライオンズクラブと文京区社会福祉協議会と連携・協力をを行い実施した（お米 210 kg）。

e ひとり親世帯応援企画（1 月 17 日～3 月 14 日）

新型コロナウイルスの影響で困っているひとり親世帯のためのお米支援を、魚沼ライオンズクラブ等と連携・協力をを行い実施した（お米 390 kg）

実施期間	配布世帯数
1 月 12 日～1 月 22 日	78 世帯
3 月 8 日～3 月 14 日	78 世帯

② 福祉教育の推進

ア 講座・研修の開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を中止することとした。

イ 学習支援の実施

a ボランティアスクール等の開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、市内中学校及び受入施設と連絡調整を行い、開催を中止することとした。

b 小中学校へのボランティア学習支援

実施日	学 校 等	学年	内 容	参加者
6 月 3 日	須原小学校	4 学年	笑顔いっぱいプロジェクトについて	14 人

c 「まち」の仕事発見塾の参加（9/18、魚沼市地域振興センター）

市内中学校 1 年生 246 人を対象に企業説明（16 社出展）

ウ 研修会等

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策研修（10/16、オンライン研修）
- ・福祉教育推進セミナー（11/20、アトリウム長岡）

③ 災害時の支援体制の充実

ア 災害時相互協力協定の締結

災害時における相互支援や災害ボランティア活動等の被災者支援を行うことを目的に、文京区社会福祉協議会と協定を締結しました（10/18）。

イ 平常時における関係機関との連携強化

	期 日	内 容	開催場所
第1回	6 月 18 日	・「にいがたNPOたがいにサロン」 新型コロナウイルス感染症を互いに協力して乗り越えるためのプラットフォーム	オンライン会議
第2回	7 月 9 日	・新潟県災害ボランティア調整会議関係者打合会 新型コロナウイルス感染症拡大下における災害ボランティアセンターの設置運営について	オンライン会議
第3回	10 月 26 日	・新型コロナウイルス感染が懸念される状況における災害ボランティアセンター設置訓練	南魚沼市
第4回	12 月 8 日	・魚沼地域災害時食のセーフティネットワーク会議	小出ボランティアセンター
第5回	1 月 6 日	・うおぬま防災ネットワークとの情報交換会	堀之内商工会

ウ 災害支援コーディネーターの養成

	期 日	内 容	開催場所
第1回	9 月 11 日	・災害支援コーディネーター養成 研修運営会議	オンライン会議
第2回	9 月 23 日	・災害支援コーディネーター養成 研修運営会議	オンライン会議
第3回	10 月 8 日	・災害支援コーディネーター養成 研修運営会議	オンライン会議
第4回	10 月 19 日	・災害支援コーディネーター養成 研修運営会議	新潟ユニゾンプラザ

第5回	12月 7日	・災害支援コーディネーター養成 研修企画委員会議	新潟ユニゾンプラザ
第6回	12月21日 ～12月22日	・災害支援コーディネーター養成 研修（初級）	新潟ユニゾンプラザ
第7回	1月26日 ～1月27日	・災害支援コーディネーター養成 研修（中級）	新潟ユニゾンプラザ
第8回	3月25日	・災害支援コーディネーター養成 研修運営会議	オンライン会議

エ 三魚沼地区社会福祉協議会災害担当者会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	9月 2日	①講義「新型コロナウイルス感染が懸念される状況における災害ボランティアセンターの設置・運営について」 講師：にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李仁鉄 氏 ②意見交換	オンライン会議

オ 災害ボランティアセンターの設置・運営費の公費負担に関する要望書の提出 (9/11. 魚沼市役所本庁舎)

④ 福祉施設協働事業

社会福祉施設との協働事業を円滑に進めるため、施設との連絡調整を行いながら、市民のボランティア活動への積極的な参加を促す計画であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、事業を中止することとしました。

【事業の成果】

ボランティア活動を推進するため、小中学校、ボランティア、福祉施設等を巻き込んだ笑顔いっぱいプロジェクトや布マスクボランティア、お米支援等の取り組みを行い、地域住民に積極的に情報発信を行いました。また、災害時の支援体制の充実に向け、東京都文京区社会福祉協議会との災害時相互協力協定の締結のほか、コロナ禍の災害ボランティアセンターの設置・運営について、行政・NPO・医療機関・社協関係者等と検討を行いました。

【今後の課題】

ボランティア活動における感染対策と新しい取り組みの可能性に向け、検証を行い、コロナ禍でも地域住民が安心してボランティア活動が展開出来るよう事業継続計画（BCP）の策定を行います。また、コロナ禍での災害発生に備えた取り組みについても引き続き進めていきます。

(5) 住民参加型在宅福祉サービス（あいほうし隊）事業

① 相談受付件数

	件数
本年度	41 件
前年度	72 件

② 登録状況

	利用者	活動者
本年度	38 人	59 人
前年度	31 人	53 人

③ 活動内容

内 容	本年度	前年度
電球換え	1 件	4 件
灯油入れ	23 件	11 件
家具の移動	1 件	2 件
簡単な修繕大工	1 件	4 件
掃除	64 件	123 件
草取り	8 件	15 件
花の水やり	4 件	1 件
ゴミ出し	7 件	35 件
見守り、話し相手	39 件	85 件
通院介助	0 件	2 件
代筆・代読	4 件	2 件
買い物	41 件	32 件
薬とり	8 件	1 件
日用品等の代金を支払う手続き	3 件	1 件
その他	25 件	9 件
合 計	229 件	327 件

※その他・・・家具の移動、簡単な修繕大工、支払い、すだれ取付、野菜収穫、衣類整理

【事業の成果】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、相談受付や活動内容の件数は前年度に比べ減少はしているが、登録される利用者や活動者の件数が前年度に比べ増加しました。その要因は、住民相互の支え合いによる生活支援サービスとして関係機関・団体等への情報周知と普及啓発を進めてきた成果だと考えます。

【今後の課題】

新型コロナウイルスの影響により、精神的な不安等から利用に至らない方もいるので、活動者と連携・協力等を行い、利用者の精神的な負担を軽減する取り組みを行います。また、利用者増に向けた取り組みとして、企業や行政等の窓口にチラシの設置を依頼し、事業周知を図ります。

地域福祉事業

単位:円

科 目	ボランティアセンター		
	予算	決算	差異
会費収入	790,000	395,000	395,000
分担金収入	0	0	0
経常経費寄附金収入	0	10,000	△ 10,000
事業収入	210,000	63,186	146,814
その他の事業収入	60,000	122,620	△ 62,620
事業活動収入計 (1)	1,060,000	590,806	469,194
事業費支出	612,000	450,715	161,285
事務費支出	35,000	29,420	5,580
事業活動支出計 (2)	647,000	480,135	166,865
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	413,000	110,671	302,329
予 備 費 (10)	300,000	0	300,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	113,000	110,671	2,329

3. 小口資金貸付事業

(1) 利用実績

	本年度		前年度		年度比較	
	貸付件数	貸付金額	貸付件数	貸付金額	貸付件数	貸付金額
堀之内	0件	0円	0件	0円	0件	0円
小 出	1件	50,000円	0件	0円	1件	50,000円
湯之谷	1件	10,000円	0件	0円	1件	10,000円
広 神	3件	70,000円	2件	60,000円	1件	10,000円
守 門	1件	35,000円	1件	10,000円	0件	25,000円
入広瀬	0件	0円	0件	0円	0件	0円
計	6件	165,000円	3件	70,000円	3件	95,000円

【事業の成果】

次の収入までのつなぎやライフラインの維持のために利用され、生活再建の一助となっています。また計画的な償還出来ない借受世帯に対しては、償還指導を定期的の実施し、必要な援助を行いました。

【今後の課題】

長期滞納者も多いのが実情であり、民生委員や関係機関等と協力し、相談・支援を継続的に取り組んでいきます。

小口資金貸付金事業

単位:円

科 目	小口資金貸付		
	予算	決算	差異
貸付事業収入	450,000	311,000	139,000
事業活動収入計 (1)	450,000	311,000	139,000
事業費支出	25,000	4,730	20,270
貸付事業支出	300,000	165,000	135,000
流動資産評価損等による資金減少額	125,000	0	125,000
事業活動支出計 (2)	450,000	169,730	280,270
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	141,270	△ 141,270
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	141,270	△ 141,270

4. 受託事業

(1) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業 県社協から受託）

① 相談援助件数（問い合わせ・相談援助件数）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計
本年度	510 件	953 件	674 件	1 件	2,138 件
前年度	465 件	774 件	547 件	5 件	1,791 件

② 契約締結件数（新規）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	計
本年度	0 件	3 件	0 件	3 件
前年度	0 件	3 件	3 件	6 件

③ 利用状況

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	計
本年度	12 件	24 件	13 件	49 件
前年度	16 件	22 件	17 件	55 件

④ 終了件数（死亡、成年後見への移行、施設入所、本人申し出など）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	計
本年度	4 件	1 件	4 件	9 件
前年度	1 件	1 件	4 件	6 件

⑤ 生活支援員

ア 生活支援員登録・実働者数

	登録者数	実働者数	実働率
本年度	35 件	34 件	97.1%
前年度	37 件	36 件	97.3%

⑥ 研修会等

- ・日常生活自立支援事業契約締結審査会 1 回（6/30、）
- ・日常生活自立支援事業専門員ミーティング 1 回（7/16）
- ・日常生活自立支援事業担当部課長連絡会議 1 回（8/4）
- ・日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会 1 回（8/31-11/16）
- ・日常生活自立支援事業業務管理体制に関するヒアリング 1 回（11/5）
- ・日常生活自立支援事業生活支援員研修Ⅰ 1 回（1/25）

【事業の成果】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、生活支援員の活動を休止し、利用者による支援を直接職員が行うことにより、支援計画の見直しや支援方法の簡素化など、通常支援の見直しが出来ましたが、職員の業務負担は大きいものでした。

【今後の課題】

利用者のニーズに沿った支援を引き続き行うため、職員の直接支援業務の軽減や生活支援員の確保に向けた検討を行います。また成年後見制度の移行も念頭に置き、支援計画の評価を適切に行い、利用者本位に基づいたサービスを提供します。

受託事業		福祉サービス利用援助		
科 目	単位: 円			
	予算	決算	差異	
受託金収入	2,091,000	2,325,000	△ 234,000	
事業収入	672,000	562,700	109,300	
事業活動収入計 (1)	2,763,000	2,887,700	△ 124,700	
人件費支出	3,244,000	2,631,130	612,870	
事業費支出	114,000	105,368	8,632	
事務費支出	31,000	18,328	12,672	
事業活動支出計 (2)	3,389,000	2,754,826	634,174	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 626,000	132,874	△ 758,874	
事業区分間繰入金収入	1,007,000	211,646	795,354	
その他の活動収入 計 (7)	1,007,000	211,646	795,354	
その他の活動による支出	381,000	344,520	36,480	
その他の活動支出 計 (8)	381,000	344,520	36,480	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	626,000	△ 132,874	758,874	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	

(2) 生活困窮者自立支援事業（市から受託）

① 自立相談支援事業

ア 支援対象者の生活及び就労に関する相談支援

イ 法律相談（新潟県弁護士会所属弁護士）

- ・開設回数：24 回（毎月第2・4 火曜日）
- ・会 場：小出ボランティアセンター「2階 相談室」
- ・相談件数：81 件（前年度 86 件）
- ・相談内容： 相続、金銭貸借、離婚

ウ 支援調整会議の開催

専門的見地から、支援プランの適切性を協議することを通して、支援の質を担保するとともに、地域に不足する社会資源の把握及び創出に向けた意見交換を行った。

エ 情報発信

- ・相談カレンダー作成（全戸配布）
- ・ふれあい福祉総合相談センター「カレンダー」を市報うおぬまに掲載（随時）

オ フードバンク

協力員として登録していただいた地域の方から、食材の提供を受け、生活困窮者に届けました。

	本年度	前年度
提供回数	82 件	148 件

協力員登録者数	63 件	57 件
---------	------	------

カ 研修・会議等

- ・自立相談支援事業従事者養成研修【主任】【就労】【家計】(10/30-11/24)
- ・ひきこもり支援従事者研修会(11/30、新潟ユニソンプラザ)

② 就労準備支援事業

ア ひきこもり支援(新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、5月31日まで開催中止)

a ひきこもり座談会の開催(毎月第3水曜日)

	本年度	前年度
開催回数	9 回	11 回
参加延人数	57 人	96 人

b ひきこもりピアサポート学習会(毎月第2水曜日)

	本年度	前年度
開催回数	7 回	11 回
参加延人数	27 人	65 人

イ 居場所づくり(キャリアカウンセリング、就労準備セミナーは居場所を含む)

a ちょびん(毎週土曜日、キャリア・ステップ魚沼教室)の開催

	本年度	前年度
開催回数	46 回	46 回
参加延人数	114 人	138 人

b あけのこり(不定期)の開催

ちょびんに馴染めなかった人の居場所として開催(工作、点字名刺作成など)

	本年度	前年度
開催回数	12 回	20 回
参加延人数	24 人	40 人

c zero ジョブ(新規)

6月から毎週水曜日に中間就労の居場所として開催

(缶バッヂ、内職、点字名刺作成など)

	本年度
開催回数	40 回
参加延人数	236 人

③ 家計相談支援事業

ア 相談援助件数 18 件

イ 相談内容

- ・家計状況把握の支援(18 件)
- ・にいがたセーフティネット事業(2 件・20,000 円)
- ・貸付斡旋【総合支援資金】(12 件・7,860,000 円)※内 11 件特例貸付
- ・債務整理支援(3 件)

ウ 金銭管理勉強会

	期 日	内 容	参加者数
第1回	12月 7日	・講義「身近にひそむゲーム課金のトラブル」 講師：塩沢信用組合小出郷支店 営業係 馬 場 修 氏 ・発表「事例紹介～スマホゲーム課金について～」 説明員：うおぬま相談支援センター 相談支援専門員 山之内 良太 氏 ・説明「日常生活自立支援事業について」 説明員：魚沼市社会福祉協議会 生活支援係長 佐藤 直樹	37人

【事業の成果】

生活困窮者に対し、十分な案内や支援を実施するため、関係機関との連携強化を図りました。また、新たな取り組みとして中間的就労の場「zero ジョブ」や相談フォームの新規開設を行いました。

【今後の課題】

相談に対するハードルを下げ、相談しやすい環境を提供するため、相談フォーム等の周知を行うとともに、中間的な就労の場の機会と支援策を関係者と検討を進めていきます。

受託事業

単位：円

科 目	生活困窮者自立支援		
	予算	決算	差異
受託金収入	17,710,000	18,040,000	△ 330,000
事業活動収入計 (1)	17,710,000	18,040,000	△ 330,000
人件費支出	15,009,000	15,008,751	249
事業費支出	3,211,000	2,724,202	486,798
事務費支出	553,000	515,891	37,109
事業活動支出計 (2)	18,773,000	18,248,844	524,156
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 1,063,000	△ 208,844	△ 854,156
拠点区分間繰入金収入	1,515,000	621,524	893,476
その他の活動収入 計 (7)	1,515,000	621,524	893,476
その他の活動による支出	452,000	412,680	39,320
その他の活動支出 計 (8)	452,000	412,680	39,320
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	1,063,000	208,844	854,156
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(3) 生活福祉資金貸付事業（県社協から受託）

① 貸付状況（新規）

	貸付件数	貸付金額	備 考
本年度	2 件	400,000 円	・総合支援資金 300,000 円 ・緊急小口資金 100,000 円
前年度	0 件	0 円	

② 緊急小口資金等の特例貸付（新型コロナウイルス）

	相談件数	申請額		決定額	
		件数	金 額	件数	金 額
緊急小口資金 （特例）	89 件	21 件	3,100,000 円	21 件	3,100,000 円
総合支援資金 （特例）	37 件	11 件	7,560,000 円	11 件	7,560,000 円
計	126 件	32 件	10,660,000 円	32 件	10,660,000 円

③ 生活福祉資金貸付調査委員会の開催 2 回（7/17、1/21）

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で収入が減少した世帯に、緊急小口資金等の特例貸付の相談や支援等を行いました。また本事業の滞納世帯には毎月、電話連絡を行い、生活状況等の確認や相談支援を実施しました。

【今後の課題】

他機関からの借入が困難な低所得世帯等を対象に、世帯の経済的自立を目的として、民生委員と連携を取りながら、生活相談及び償還指導を実施していきます。

受託事業		単位：円		
科 目		生活福祉資金		
		予算	決算	差異
経常経費補助金収入		2,148,000	2,148,000	0
受託金収入		250,000	217,000	33,000
事業活動収入計（1）		2,398,000	2,365,000	33,000
人件費支出		2,148,000	2,148,000	0
事業費支出		317,000	272,090	44,910
事務費支出		10,000	10,000	0
事業活動支出計（2）		2,475,000	2,430,090	44,910
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		△ 77,000	△ 65,090	△ 11,910
事業区分間繰入金収入		77,000	0	77,000
その他の活動収入 計（7）		77,000	0	77,000
その他の活動支出 計（8）		0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		77,000	0	77,000
予 備 費（10）		0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	△ 65,090	65,090

(4) 聴覚障害者コミュニケーション支援事業(市から受託)

① 派遣状況

	本年度	前年度
医療機関	0 件	0 件
公的機関	0 件	0 件
就 労	0 件	0 件
会議・研修	0 件	0 件
地域活動	0 件	3 件
その他	0 件	0 件
計	0 件	3 件

② 手話通訳者等登録者数 13 人

【事業の成果】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催予定であった市内の事業等が中止になり、本事業に対する問合せや相談等はありませんでした。

【今後の課題】

聴覚や音声・言語機能に障がいがある人に手話奉仕員を派遣し、社会生活を円滑に営める援助が行えるよう、事業の周知を図ります。

受託事業

単位: 円

科 目	聴覚障害者支援		
	予算	決算	差異
受託金収入	100,000	0	100,000
事業活動収入計 (1)	100,000	0	100,000
事業費支出	98,000	0	98,000
事務費支出	2,000	0	2,000
事業活動支出計 (2)	100,000	0	100,000
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	0	0

(5) 在宅介護支援センター事業(在宅介護支援センター（地域型）業務 市から受託)

高齢者の相談窓口として、地域包括支援センターと連携を図り事業を実施しました。

全体で 142 件の相談（前年度比 44%増）がありました。うち介護保険関係の相談は 25 件で全体相談件数の 25%増、また、介護方法や介護の悩みが 22 件（全体の 15%）あり、介護保険を申請せずに介護の悩みを抱えている人がいることが分かりました。

（守門居宅介護支援事業所で 24 時間対応）

相 談 内 容		守門居宅	前年度	比較
介護保険	要介護認定関係	25 件	7 件	18 件
	サービス内容関係	4 件	0 件	4 件
	苦情関係	0 件	0 件	0 件
	サービスの紹介	3 件	2 件	1 件
	そ の 他	36 件	16 件	20 件
介護方法や介護の悩み		22 件	17 件	5 件
医 療		5 件	4 件	1 件
高齢者や介護者の健康		0 件	1 件	△1 件
給食サービス		2 件	0 件	2 件
外出支援サービス		0 件	2 件	△2 件
福祉機器・介護用品		6 件	8 件	△2 件
住宅の増改築		1 件	0 件	1 件
介護用品購入		0 件	0 件	0 件
虐待・権利擁護		0 件	0 件	0 件
その他		38 件	6 件	32 件
合 計		142 件	63 件	63 件

【事業の成果】

介護保険申請前の相談を受けることにより地域住民の不安軽減に繋がりました。

【今後の課題】

居宅介護支援事業所の業務と並行しての在宅介護支援センター業務では、細やかな支援を届けることが困難です。新年度、北部地域包括支援センターが配置されることにより、これら地域住民の方への支援が充実してくるだろうと予測されます。

在宅介護支援センターの受託事業は本年度をもって終了となりました。

受託事業

単位:円

科 目	在宅介護支援センター		
	予算	決算	差異
受託金収入	500,000	500,000	0
事業活動収入計 (1)	500,000	500,000	0
人件費支出	500,000	500,000	0
事業活動支出計 (2)	500,000	500,000	0
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

5. 介護福祉事業

今年度の資金収支決算は 9,221 千円と単年度収支黒字の目標は達成できましたが、収入予算に対して△27,783 千円、支出予算に対して△21,814 千円の結果となり、当初予算に対する目標達成率はそれぞれ収入 93%、支出 95%となりました。各事業所の収支差額は、訪問介護事業所 2,556 千円、伊米ヶ崎デイサービス 751 千円、湯之谷デイサービス 3,590 千円、守門デイサービス 777 千円、在宅介護支援センター湯之谷 2,230 千円、守門居宅介護支援事業所△686 千円という結果でした。

コロナウイルスによる利用控え、新規獲得の減少等が影響し収益に繋がりませんでした。特に、守門居宅介護支援事業所は、魚沼市地域包括支援センターからの新規依頼減少の影響を受け、その余波として訪問介護事業所の守門・入広瀬出張所、守門デイサービスセンターの収入減少にも大きく影響を与える結果となりました。加えて当初計画の処遇改善手当の支給額が人件費の支出を圧迫し、処遇改善手当支給額の見直しをせざるを得ない状況となりました。

収益が上がらず苦しい中ではありましたが、コロナ禍でサービス提供を継続するためにはどうすればよいのか職員それぞれが知識や技術を深めるため、感染症の研修、BCP の作成訓練を実施しました。

また、介護福祉事業の将来を見据えた事業運営の在り方を示し、自立した経営基盤を強化することを目的に、第2期介護福祉事業中長期計画（R3. 4. 1～R7. 3. 31）を策定しました。

【令和2年度 資金収支決算状況】

(単位:円)

	補正後予算 (A)	R2 決算(B)	差異(A)-(B)	R元決算(C)	増減(B)-(C)
訪問介護					
事業活動収入	100,219,000	88,959,194	11,259,806	100,026,736	△ 11,067,542
事業活動支出	90,934,000	84,737,079	6,196,921	85,575,201	△ 838,122
収支差額	9,285,000	4,222,115	5,062,885	14,451,535	△ 10,229,420
居宅介護・移動支援					
事業活動収入	6,519,000	6,460,680	58,320	6,949,900	△ 489,220
事業活動支出	8,589,000	8,125,854	463,146	8,374,040	△ 248,186
収支差額	△ 2,070,000	△ 1,665,174	△ 404,826	△ 1,424,140	△ 241,034
軽度生活					
事業活動収入	1,704,000	1,621,152	82,848	1,643,510	△ 22,358
事業活動支出	1,704,000	1,621,152	82,848	1,643,510	△ 22,358
収支差額	0	0	0	0	0
魚沼社協訪問介護(合計)					
事業活動収入	108,442,000	97,041,026	11,400,974	108,620,146	△ 11,579,120
事業活動支出	101,227,000	94,484,085	6,742,915	95,592,751	△ 1,108,666
収支差額	7,215,000	2,556,941	4,658,059	13,027,395	△ 10,470,454
伊米ヶ崎デイサービス					
事業活動収入	72,520,000	68,309,720	4,210,280	67,867,020	442,700
事業活動支出	72,240,000	67,558,115	4,681,885	64,679,717	2,878,398
収支差額	280,000	751,605	△ 471,605	3,187,303	△ 2,435,698

湯之谷デイサービス(介護)	補正後予算 (A)	R2 決算(B)	差異(A)-(B)	R元 決算(B)	増減(B)-(C)
事業活動収入	70,077,000	65,358,834	4,718,166	64,920,248	438,586
事業活動支出	64,109,000	60,895,244	3,213,756	58,955,716	1,939,528
収支差額	5,968,000	4,463,590	1,504,410	5,964,532	△ 1,500,942
(生活介護)					
事業活動収入	2,339,000	2,081,780	257,220	2,247,260	△ 165,480
事業活動支出	3,212,000	2,954,491	257,509	2,821,501	132,990
収支差額	△ 873,000	△ 872,711	△ 289	△ 574,241	△ 298,470
湯之谷デイサービス(合計)					
事業活動収入	72,416,000	67,440,614	4,975,386	67,167,508	273,106
事業活動支出	67,321,000	63,849,735	3,471,265	61,777,217	2,072,518
収支差額	5,095,000	3,590,879	1,504,121	5,390,291	△ 1,799,412
守門デイサービス	補正後予算 (A)	R2 決算(B)	差異(A)-(B)	R元 決算(B)	増減(B)-(C)
事業活動収入	102,734,000	98,635,621	4,098,379	98,395,409	240,212
事業活動支出	102,540,000	97,857,820	4,682,180	95,944,804	1,913,016
収支差額	194,000	777,801	△ 583,801	2,450,605	△ 1,672,804
在介湯之谷	補正後予算 (A)	R2 決算(B)	差異(A)-(B)	R元 決算(B)	増減(B)-(C)
事業活動収入	33,641,000	33,231,980	409,020	34,102,818	△ 870,838
事業活動支出	32,005,000	31,001,396	1,003,604	30,872,385	129,011
収支差額	1,636,000	2,230,584	△ 594,584	3,230,433	△ 999,849
守門居宅	補正後予算 (A)	R2 決算(B)	差異(A)-(B)	R元 決算(B)	増減(B)-(C)
事業活動収入	26,243,000	23,553,860	2,689,140	26,378,911	△ 2,825,051
事業活動支出	25,473,000	24,240,555	1,232,445	22,113,871	2,126,684
収支差額	770,000	△ 686,695	1,456,695	4,265,040	△ 4,951,735
介護福祉課全体	補正後予算 (A)	R2 決算(B)	差異(A)-(B)	R元 決算(C)	増減(B)-(C)
事業活動収入	415,996,000	388,212,821	27,783,179	402,531,812	△ 14,318,991
事業活動支出	400,806,000	378,991,706	21,814,294	370,980,745	8,010,961
収支差額	15,190,000	9,221,115	5,968,885	31,551,067	△ 22,329,952

【事業の成果】

コロナ禍ではありましたが、新型コロナウイルス感染症を正しく恐れる為の研修などを実施し、その知識を深めることで感染予防対策を万全に期し、できる限りの利用者受け入れとサービス提供を継続することが出来ました。職員の感染予防に対する意識の向上が図れ、利用者・家族のご理解とご協力を頂いたこともあり、施設内での感染者、職員の感染者は「0」でした。

【今後の課題】

令和3年度は、北部地域包括支援センターの設置に伴い魚沼市北部地域への福祉がよりきめ細やかに推進され、これにより地域住民の暮らしが守られ守門居宅介護支援事業所の依頼件数が増えることが予想されます。そして、住民が住み慣れた地域での在宅生活が継続できるような支援を継続していき、支出面では、処遇改善手当支給額を介護報酬実績に見合った支給額とすることが求められます。また、令和3年度の介護報酬改定により示された訪問介護や通所介護、そして居宅介護支援の在り方について考え、新たな取り組みや委員会、研修会等を実施しサービスの質の向上、人材育成に努め、選ばれる事業所を目指していく必要があります。さらに、感染、災害に備えた平時からの対応や自立支援・重度化防止に向けた取り組みの推進を行い、あわせて加算の見直しなど介護福祉事業の経営基盤の安定を図り、地域包括ケアシステム構築の一翼を担えるような介護福祉事業として令和3年度に紡いでいきます。

(1) 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

日常生活が困難な要支援・要介護状態の方へホームヘルパーを派遣し、その方自身の能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、食事・入浴・排泄などの身体介護や、家事・掃除などの家事援助のサービスを提供しました。保険外サービス（ふれあいサポート事業）を実施しました。

- ・実施事業所 1 事業所（本拠地） 1 出張所（守門・入広瀬）
- ・派遣日 1 月 1 日を除く毎日 特別な事情により営業日以外も対応
- ・派遣時間 8 時 30 分～17 時 30 分 特別な事情により時間外も対応
- ・収入予算に対し目標達成率 89%、支出予算に対し目標達成率 93%でした。
- ・利用者数前年比△14% 利用回数前年比△18%でした。
- ・区分別会議委員を務め、市内の訪問介護事業所を参集しコロナ禍においてのサービス提供の継続について意見交換をしました。
- ・各種会議への参加と研修会（zoom 含む）に参加しました。
- ・介護認定審査会委員に訪問介護事業所より 2 名が任命されています。
- ・新潟県介護保険及び障害福祉サービスの实地指導を受けましたが、指摘事項はありませんでした。
- ・コロナ禍でのサービス提供を継続するために感染症についての研修、BCP 訓練を実施しました。

① 訪問介護（介護予防訪問介護相当サービス）利用実績

		本拠地			守門・入広瀬出張所			全体		
		実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
介護	利用者数(人)	859	960	△ 101	378	476	△ 98	1,237	1,436	△ 199
	生活	回数	925	1,723	△ 798	704	1,220	△ 516	1,629	△ 1,314
		時間	879	13,890	△ 13,011	639	1,141	△ 502	1,518	△ 13,513
	身体	回数	8,640	9,728	△ 1,088	4,282	4,807	△ 525	12,922	△ 1,613
		時間	5,971	6,674	△ 703	2,646	2,756	△ 110	8,617	△ 813
	身体生活	回数	2,152	2,191	△ 39	838	1,629	△ 791	2,990	△ 830
		時間	2,478	2,311	167	876	1,735	△ 859	3,354	△ 692
総合	利用者数(人)	132	174	△ 42	191	182	9	323	356	△ 33
	派遣回数(回)	747	939	△ 192	1,101	1,180	△ 79	1,848	2,119	△ 271

② ふれあいサポート事業（保険外サービス）利用実績

		本拠地			守門・入広瀬出張所			全体		
		実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
利用者数(人)		17	18	△ 1	2	0	2	19	18	1
身体	回数	26	15	11	40	0	40	66	15	51
	時間	34	25	9	20	0	20	54	25	29
生活	回数	4	22	△ 18	0	0	0	4	22	△ 18
	時間	3.5	22	△ 19	0	0	0	3.5	22	△ 19

【事業の成果】

新規獲得のため、ヘルパー便りの発信、ケアマネへの情報提供、法令を順守した誠実なサービス提供などコロナ禍においても出来る事を心がけ、介護保険外のサービス（ふれあいサポート事業）について身体の依頼回数が増となり、介護保険外サービスを利用できる事業所としての存在感を示すことができました。また、職員の感染予防に対する意識の向上が図れ、利用者・家族のご理解とご協力を頂いたこともあり、施設内での感染者、職員の感染者は「0」でした。

【今後の課題】

令和3年度介護報酬改定に伴い、加算の見直しと新規獲得の新たな取り組みを検討し、介護報酬改定の重要項目の一つである地域包括ケアシステムの推進のため、利用者の自立支援、重度化防止の取り組みに努め訪問介護事業所としてできることを考え、また、コロナ禍でのサービス提供を継続できるよう、感染症の事業継続計画（BCP）及び災害時のBCP作成に向け基盤作りをしていきます

介護福祉事業

単位：円

科 目	訪問介護		
	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	1,000	0	1,000
経常経費補助金収入	1,000	0	1,000
介護保険事業収入	99,522,000	88,146,184	11,375,816
その他の事業収入	108,000	171,500	△ 63,500
受取利息配当金収入	1,000	8,265	△ 7,265
その他の収入	586,000	636,726	△ 50,726
事業活動収入計（1）	100,219,000	88,962,675	11,256,325
人件費支出	80,986,000	77,154,200	3,831,800
事業費支出	8,717,000	6,705,111	2,011,889
事務費支出	1,230,000	814,768	415,232
利用者負担軽減額	1,000	0	1,000
事業活動支出計（2）	90,934,000	84,674,079	6,259,921
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	9,285,000	4,288,596	4,996,404
施設整備等収入計（4）	0	0	0
固定資産取得支出		49,780	△ 49,780
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,171,000	2,784,133	386,867
施設整備等支出計（5）	3,171,000	2,833,913	337,087
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 3,171,000	△ 2,833,913	△ 337,087
積立資産取崩収入	40,288,000	40,296,008	△ 8,008
その他の活動による収入	1,000	0	1,000
その他の活動収入 計（7）	40,289,000	40,296,008	△ 7,008
積立資産支出		8,265	△ 8,265
拠点区分間繰入金支出	47,000,000	41,673,182	5,326,818
その他の活動による支出	181,000	126,000	55,000
その他の活動支出 計（8）	47,181,000	41,807,447	5,373,553
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 6,892,000	△ 1,511,439	△ 5,380,561
予 備 費（10）	800,000	0	800,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 1,578,000	△ 56,756	△ 1,521,244

(2) 通所介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

要支援要介護状態の方に対して、能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助や個別機能訓練を行うことにより、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図れるよう努めました。

- ・実施事業所 3 事業所（伊米ヶ崎デイサービス、湯之谷デイサービス、守門デイサービス）
- ・開所日 12月31日～1月3日を除く毎日
伊米ヶ崎デイサービスは毎週日曜休業日
湯之谷デイサービスは毎週土曜休業日
- ・開所時間 9時00分～16時30分
- ・利用者数介護前年比△4%、総合11%増、利用回数介護前年比△4%。総合4%増、年間平均稼働率前年比△3.1%、総合事業利用者数は微増したものの単価が介護に比べると低いと、収益増にはつながりませんでした。
- ・収入予算に対し目標達成率95%、支出予算に対し目標達成率94.6%でした。
- ・理美容サービスを実施しました。
- ・実習生を受け入れました。
伊米ヶ崎デイサービスセンター 北里大学保健衛生専門学院
令和2年10月5日～8日 各日2名ずつ受入（実人数4名）
- ・ボランティアの受け入れ（コロナ禍のため理美容サービスのみ）
- ・介護認定審査会委員に通所介護事業所より3名が任命されています。
- ・家族介護教室を実施しました。
伊米ヶ崎デイサービス
R2年12月18日（金）十日町集落センター 参加者 15人
湯之谷デイサービス
R2年7月14日（火）上ノ原（老人福祉センター）参加者 15人
R2年10月26日（月）下折立（長者会館）参加者 12人
R2年12月12日（土）葎沢（公民館）参加者 13人
守門デイサービス
R2年10月23日（金）守門健康センター参加者 8人
- ・お客様アンケート実施しました。
- ・区分別会議の委員をつとめ、市内他事業所と連携を図りました。
- ・各種会議への参加と研修会（zoom含む）に参加しました。
- ・医療介護連携システム team を導入し、医療との連携がスムーズに行えました。
- ・コロナ禍でのサービス提供を継続するために感染症についての研修、BCP訓練を実施しました。

		伊米ヶ崎デイサービス			湯之谷デイサービス			守門デイサービス			通所介護全体(平均)		
		実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
定員		23	23	0	25	25	0	29	29	0	26	26	0
開所日		310	310	0	310	308	2	361	362	△ 1	327	327	0
介護	年間利用者数	662	660	2	657	682	△ 25	968	1,049	△ 81	762	797	△ 35
	年間利用回数	6,059	6,372	△ 313	5,903	6,016	△ 113	8,309	8,717	△ 408	6,757	7,035	△ 278
総合	年間利用者数	13	28	△ 15	102	90	12	264	224	40	126	114	12
	年間利用回数	73	204	△ 131	821	665	156	1,337	1,274	63	744	714	29
1日平均利用者数		19.8	21.2	△ 1.4	※ 21.7	21.7	△ 0.0	26.7	27.6	△ 0.9	23.6	23.0	0.6
稼働率(%)		86.0%	92.2%	-6.2%	※86.8%	86.8%	0.0%	92.1%	95.2%	-3.0%	88.3%	91.4%	-3.1%

※生活介護舎

R2年度介保のみ 583回

R2年度介保のみ 稼働率83.7(%)

【事業の成果】

コロナ禍で施設内に地域の方を招く等の交流はできませんでしたが、出来ることは何かを考え工夫し地域と交流を持てるようにしました。地域住民の生活を守るため、感染予防対策を講じながら出来る限り利用者の受入を行うことが出来ました。また、職員の感染予防に対する意識の向上が図れ、利用者・家族のご理解とご協力を頂けたこともあり、施設内での感染者、職員の感染者は「0」でした。

【今後の課題】

令和3年度介護報酬改定に伴い、加算の見直しと新規獲得の新たな取組を検討し、介護報酬改定の重要項目の一つである地域包括ケアシステムの推進のため、通所介護事業所としてできることを考え、利用者の自立支援と援重度化防止に向け、個別機能訓練に力を入れていきます。また、コロナ禍でのサービス提供を継続できるよう、感染症の事業継続計画（BCP）及び災害時のBCP作成に向け基盤作りをしていきます。

通所介護事業

単位:円

科 目	伊米ヶ崎デイサービス			湯之谷デイサービス			守門デイサービス			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	1,000	71,000	△ 70,000	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	3,000	71,000	△ 68,000
経常経費補助金収入	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	3,000	0	3,000
介護保険事業収入	71,314,000	66,797,370	4,516,630	68,974,000	64,226,540	4,747,460	101,834,000	97,738,621	4,095,379	242,122,000	228,762,531	13,359,469
受取利息配当金収入	1,000	1,140	△ 140	7,000	3,268	3,732	1,000	0	1,000	9,000	4,408	4,592
その他の収入	1,203,000	1,440,210	△ 237,210	1,094,000	1,129,026	△ 35,026	897,000	897,000	0	3,194,000	3,466,236	△ 272,236
事業活動収入計 (1)	72,520,000	68,309,720	4,210,280	70,077,000	65,358,834	4,718,166	102,734,000	98,635,621	4,098,379	245,331,000	232,304,175	13,026,825
人件費支出	57,324,000	55,311,869	2,012,131	48,285,000	47,317,508	967,492	81,509,000	79,559,782	1,949,218	187,118,000	182,189,159	4,928,841
事業費支出	13,837,000	11,554,076	2,282,924	15,039,000	13,059,184	1,979,816	20,202,000	17,579,794	2,622,206	49,078,000	42,193,054	6,884,946
事務費支出	1,078,000	682,119	395,881	784,000	518,552	265,448	828,000	718,244	109,756	2,690,000	1,918,915	771,085
利用者負担軽減額	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	3,000	0	3,000
事業活動支出計 (2)	72,240,000	67,548,064	4,691,936	64,109,000	60,895,244	3,213,756	102,540,000	97,857,820	4,682,180	238,889,000	226,301,128	12,587,872
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	280,000	761,656	△ 481,656	5,968,000	4,463,590	1,504,410	194,000	777,801	△ 583,801	6,442,000	6,003,047	438,953
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	700,000	628,000	72,000	682,000	628,000	54,000	732,000	628,520	103,480	2,114,000	1,884,520	229,480
ファイナンス・リース債務の返済支出	373,000	366,192	6,808	373,000	366,192	6,808	711,000	702,828	8,172	1,457,000	1,435,212	21,788
施設整備等支出計 (5)	1,073,000	994,192	78,808	1,055,000	994,192	60,808	1,443,000	1,331,348	111,652	3,571,000	3,319,732	251,268
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 1,073,000	△ 994,192	△ 78,808	△ 1,055,000	△ 994,192	△ 60,808	△ 1,443,000	△ 1,331,348	△ 111,652	△ 3,571,000	△ 3,319,732	△ 251,268
積立資産取崩収入	0	0	0	288,000	288,000	0	0	0	0	288,000	288,000	0
その他の活動による収入	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	0	0	0	2,000	0	2,000
その他の活動収入 計 (7)	1,000	0	1,000	289,000	288,000	1,000	0	0	0	290,000	288,000	2,000
積立資産支出	0	1,140	△ 1,140	0	3,268	△ 3,268	0	0	0	0	4,408	△ 4,408
その他の活動による支出	55,000	54,000	1,000	73,000	72,000	1,000	145,000	144,000	1,000	273,000	270,000	3,000
その他の活動支出 計 (8)	55,000	55,140	△ 140	73,000	75,268	△ 2,268	145,000	144,000	1,000	273,000	274,408	△ 1,408
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 54,000	△ 55,140	1,140	216,000	212,732	3,268	△ 145,000	△ 144,000	△ 1,000	17,000	13,592	3,408
予 備 費 (10)	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	3,000,000	0	3,000,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 1,847,000	△ 287,676	△ 1,559,324	4,129,000	3,682,130	446,870	△ 2394,000	△ 697,547	△ 1,696,453	△ 112,000	2,696,907	△ 2,808,907

6. 障害福祉事業

日常生活において支援を必要とする障がい者の方へホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、食事・入浴・排泄などの身体介護や、家事・掃除などの家事援助、視覚障害者の外出介護等のホームヘルプサービスを提供することにより、生活の質の向上に資するよう努めました。

障害福祉事業全般において年々利用者減少の傾向にあり、基準該当生活介護の利用者数は前年比△5%、利用回数△22%、居宅介護利用者数は前年比△6%、利用回数△6%、軽度生活支援の利用者数は、前年比△6%と全体平均△10%利用者数が減少しました。

(1) 基準該当生活介護（湯之谷デイサービスセンターで一体的に実施）

基準該当施設において、常に介護を必要とする方に、入浴・食事・排泄の介助等を行うとともに、趣味の場や社会交流の機会を提供しました。

- ・実施事業所 湯之谷デイサービス
- ・開所日 12月31日～1月3日及び土曜日を除く毎日
- ・開所時間 9時00分～16時30分

	実 績	前年度	比 較
利用者数	35	37	△ 2
利用回数	238	304	△ 66

(2) 居宅介護（訪問介護と一体的に実施）

- ・実施事業所 1事業所（本拠地）1出張所（守門・入広瀬）で実施
- ・派遣日 1月1日を除く毎日特別な事情により営業日以外も対応
- ・派遣時間 8時30分～17時30分特別な事情により時間外も対応

			本拠地			守門・入広瀬			全 体		
			実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較
利用者数(人)			222	248	△ 26	77	71	6	299	319	△ 20
派遣 回数・時 間	身体	回数	610	633	△ 23	158	184	△ 26	768	817	△ 49
	家事	回数	1,119	1,157	△ 38	557	550	7	1,676	1,707	△ 31
	通院	回数	13	8	5	0	0	0	13	8	5

(3) 地域生活支援事業 移動支援（訪問介護と一体的に実施 市から受託）

魚沼市からの依頼により、屋外での移動が困難な障がい者の方へホームヘルパーを派遣し、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会生活参加のための外出に対して移動支援のサービスを提供しました。

			本拠地			守門・入広瀬			全 体		
			実 績	前年度	比較	実 績	前年度	比較	実 績	前年度	比較
利用者数			7	7	0	0	0	0	7	7	0
派遣回数			8	7	1	0	0	0	8	7	1

【事業の成果】

利用者数は減少しているが、地域で在宅生活を継続するために支援を必要としている障がい者の方に、コロナ禍においても感染予防対策を講じながら可能な限りサービス提供をし在宅生活の継続を支援することが出来ました。

コロナ禍でのサービス提供を継続するために感染症についての研修、BCP 訓練を実施しました。障害福祉サービスは、介護保険事業所が一体となってサービスを提供しています。

【今後の課題】

利用者数は年々減少しているが、在宅生活を継続するために支援を必要としている人に必要なサービスが提供できるように、また、コロナ禍でのサービス提供を継続できるよう、感染症の事業継続計画（BCP）及び災害時のBCP 作成に向け基盤作りをしていきます。

障害福祉事業

単位:円

科 目	居宅介護			障害生活介護			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
障害福祉サービス等事業収入	6,519,000	6,460,680	58,320	2,339,000	2,081,780	257,220	8,858,000	8,542,460	315,540
事業活動収入計 (1)	6,519,000	6,460,680	58,320	2,339,000	2,081,780	257,220	8,858,000	8,542,460	315,540
人件費支出	7,337,000	7,141,931	195,069	2,267,000	2,189,708	77,292	9,604,000	9,331,639	272,361
事業費支出	1,136,000	895,155	240,845	903,000	737,983	165,017	2,039,000	1,633,138	405,862
事務費支出	116,000	88,768	27,232	42,000	26,800	15,200	158,000	115,568	42,432
事業活動支出計 (2)	8,589,000	8,125,854	463,146	3,212,000	2,954,491	257,509	11,801,000	11,080,345	720,655
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 2,070,000	△ 1,665,174	△ 404,826	△ 873,000	△ 872,711	△ 289	△ 2,943,000	△ 2,537,885	△ 405,115
拠点区分間繰入金収入	2,000,000	1,665,174	334,826	0	0	0	2,000,000	1,665,174	334,826
その他の活動収入 計 (7)	2,000,000	1,665,174	334,826	0	0	0	2,000,000	1,665,174	334,826
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	2,000,000	1,665,174	334,826	0	0	0	2,000,000	1,665,174	334,826
予 備 費 (10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 70,000	0	△ 70,000	△ 873,000	△ 872,711	△ 289	△ 943,000	△ 872,711	△ 70,289

Ⅱ. 公益事業

1. 居宅介護支援事業

介護サービスを必要としている方、そのご家族の意向に沿った居宅介護支援計画を作成し、利用者の状況にあったサービスを円滑に提供できるように努めました。また、各種申請や更新の手続きの代行も行い、利用者の負担の軽減に努めました。魚沼市地域包括支援センター・魚沼市南部地域包括支援センターからの依頼により介護予防サービス計画を作成し、利用者の状況に最もふさわしいサービスを円滑に提供できるように努めました。

介護給付件数は 2 事業所合わせて前年比△6%、特に守門居宅介護支援事業所が△12%と大きく減少しました。介護予防支援・予防ケアマネジメントは全体で1%増、守門居宅介護支援事業所が5%の増となりました。認定調査については、認定期間の延長が増加したことと、新規利用者の受入が少なかったことから、前年比△19%と大きく減少しました。

コロナ禍においても利用者が在宅で必要なサービスを受けられるように支援していくため、感染症についての研修、事業継続計画（BCP）訓練を実施しました。

- ・実施事業所 2 事業所（在宅介護支援センター湯之谷、守門居宅介護支援事業所）
- ・開所日 月曜～金曜 年末年始（12月29日～1月4日）祝祭日を除く
- ・開所時間 8時30分～17時30分

（1）居宅介護支援（介護予防支援・介護予防ケアマネジメント・認定調査）実績

		在介湯之谷			守門居宅			全 体		
		実 績	前年度	比較	実 績	前年度	比較	実 績	前年度	比較
介護給付	給付件数	1,770	1,796	△ 26	1,230	1,390	△ 160	3,000	3,186	△ 186
	月平均給付件数	148	161	△ 14	103	121	△ 19	250	282	△ 32
予防支援・ケアマネジメント	受託件数	301	308	△ 7	258	245	13	559	553	6
	月平均給付件数	25	21	4	22	21	1	47	42	5
認定調査	受託件数	113	124	△ 11	78	112	△ 34	191	236	△ 45
	月平均給付件数	9	12	△ 2	7	10	△ 3	16	21	△ 5

- ・実習生受け入れ 新潟大学医学部 16 人
- ・研修医受け入れ 東京医療センター 1 人 東京慈恵医科大学 3 人
- ・区分別会議委員、主任ケアマネ委員を務め市内の他事業所と連携を図りました。
- ・医療介護連携システム team を導入し、医療との連携がスムーズに行えました。
- ・team 導入の委員を務め、率先して医療介護連携の推進に務めました。
- ・他法人の居宅介護支援事業所と連携を図り、事例検討などを合同で実施しました。

【事業の成果】

守門居宅介護支援事業所は魚沼市地域包括支援センターより新規が上がらなかったものの、病院連携室と連携を密にとり地域住民の福祉が守られるように支援が出来ました。また、職員の感染予防に対する意識の向上を図り、職員の感染者は「0」でした。

【今後の課題】

利用者数は減少しているが、在宅生活を継続するために支援を必要としている人に必要なサービスが提供できるように、また、コロナ禍でのサービス提供を継続できるよう、感染症の事業継続計画（BCP）及び災害時の BCP 作成に向け基盤作りをしていきます。更に、北部地域包括支援セン

ター、西武地域包括支援センターが新に設置され、市内のそれぞれの地域包括支援センターとの連携を深め、地域住民の生活を守るため介護予防、重度化防止に向けて支援を継続していきます。

居宅介護支援事業

単位：円

科 目	在宅介護湯之谷			守門居宅			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
介護保険事業収入	33,473,000	33,070,130	402,870	26,042,000	23,392,010	2,649,990	59,515,000	56,462,140	3,052,860
その他の収入	168,000	168,250	△ 250	201,000	168,250	32,750	369,000	336,500	32,500
事業活動収入計 (1)	33,641,000	33,238,380	402,620	26,243,000	23,560,260	2,682,740	59,884,000	56,798,640	3,085,360
人件費支出	28,838,000	28,499,851	338,149	22,080,000	21,564,616	515,384	50,918,000	50,064,467	853,533
事業費支出	2,313,000	1,786,124	526,876	2,953,000	2,394,572	558,428	5,266,000	4,180,696	1,085,304
事務費支出	854,000	703,421	150,579	440,000	288,567	151,433	1,294,000	991,988	302,012
事業活動支出計 (2)	32,005,000	30,989,396	1,015,604	25,473,000	24,247,755	1,225,245	57,478,000	55,237,151	2,240,849
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	1,636,000	2,248,984	△ 612,984	770,000	△ 687,495	1,457,495	2,406,000	1,561,489	844,511
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	425,000	412,488	12,512	381,000	369,300	11,700	806,000	781,788	24,212
施設整備等支出計 (5)	425,000	412,488	12,512	381,000	369,300	11,700	806,000	781,788	24,212
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 425,000	△ 412,488	△ 12,512	△ 381,000	△ 369,300	△ 11,700	△ 806,000	△ 781,788	△ 24,212
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業区分間繰入金支出	6,670,000	211,646	6,458,354	5,775,000	0	5,775,000	12,445,000	211,646	12,233,354
その他の活動による支出	91,000	90,000	1,000	73,000	72,000	1,000	164,000	162,000	2,000
その他の活動支出 計 (8)	6,761,000	301,646	6,459,354	5,848,000	72,000	5,776,000	12,609,000	373,646	12,235,354
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 6,761,000	△ 301,646	△ 6,459,354	△ 5,848,000	△ 72,000	△ 5,776,000	△ 12,609,000	△ 373,646	△ 12,235,354
予 備 費 (10)	0	0	0	500,000	0	500,000	500,000	0	500,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 5,550,000	1,534,850	△ 7,084,850	△ 5,959,000	△ 1,128,795	△ 4,830,205	△ 11,509,000	406,055	△ 11,915,055

2. 指定管理施設運営事業（市から受託）

（１）小出ボランティアセンター

- ・利用者数 延 15,098 人（前年度 23,528 人）

（２）広神老人福祉センター

- ・利用者数 延 1,663 人（前年度 2,430 人）

（３）守門健康センター

- ・利用者数 延 545 人（前年度 1,252 人）

（４）守門高齢者居住施設

種 別	居室（室）	定員（人）	利用状況（人）
単身用	3	3	3
世帯用	1	2	0
計	4	5	3

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行政等の指示に基づき、使用制限や感染対策等を講じながら管理運営を行いました。

【今後の課題】

指定管理者の指定を受けた公共施設で住民サービスの向上を目指した管理運営を行い、当該施設を活用して地域に密着した福祉活動や介護保険事業等の運営を一体的に行います。

指定管理施設運営事業

科 目	小出ボランティアセンター			広神老人福祉センター			守門高齢者居住		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	4,960,000	5,052,000	△ 92,000	4,720,000	4,720,000	0	4,300,000	4,300,000	0
事業収入	0	0	0	1,000	0	1,000	324,000	324,000	0
その他の収入	0	0	0			0			0
事業活動収入計（１）	4,960,000	5,052,000	△ 92,000	4,721,000	4,720,000	1,000	4,624,000	4,624,000	0
人件費支出	710,000	567,543	142,457	1,835,000	1,827,140	7,860	4,626,000	4,633,151	△ 7,151
事業費支出	7,539,000	6,174,235	1,364,765	2,717,000	2,010,254	706,746	1,007,000	989,643	17,357
事務費支出	237,000	237,000	0	236,000	236,000	0	240,000	237,175	2,825
事業活動支出計（２）	8,486,000	6,978,778	1,507,222	4,788,000	4,073,394	714,606	5,873,000	5,859,969	13,031
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 3,526,000	△ 1,926,778	△ 1,599,222	△ 67,000	646,606	△ 713,606	△ 1,249,000	△ 1,235,969	△ 13,031
事業区分間繰入金収入	3,526,000	1,926,778	1,599,222	67,000	0	67,000	1,249,000	1,235,969	13,031
その他の活動収入 計（７）	3,526,000	1,926,778	1,599,222	67,000	0	67,000	1,249,000	1,235,969	13,031
その他の活動支出 計（８）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	3,526,000	1,926,778	1,599,222	67,000	0	67,000	1,249,000	1,235,969	13,031
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	0	646,606	△ 646,606	0	0	0

科 目	守門健康センター			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	6,720,000	6,720,000	0	20,580,000	20,580,000	0
事業収入	9,000	0	9,000	495,000	387,145	107,855
その他の収入	1,000	689	311	1,000	689	311
事業活動収入計（１）	6,730,000	6,720,689	9,311	21,076,000	20,967,834	108,166
人件費支出	1,566,000	1,367,362	198,638	9,507,000	8,725,034	781,966
事業費支出	4,745,000	4,481,702	263,298	16,139,000	13,980,946	2,158,054
事務費支出	410,000	412,108	△ 2,108	1,115,000	1,095,719	19,281
事業活動支出計（２）	6,721,000	6,261,172	459,828	26,761,000	23,801,699	2,959,301
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	9,000	459,517	△ 450,517	△ 5,685,000	△ 2,833,865	△ 2,851,135
事業区分間繰入金収入	0	0	0	4,874,000	2,753,586	2,120,414
その他の活動収入 計（７）	0	0	0	4,874,000	2,753,586	2,120,414
その他の活動支出 計（８）	0	0	0	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0	4,874,000	2,753,586	2,120,414
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	9,000	459,517	△ 450,517	△ 811,000	△ 80,279	△ 730,721

3. 公益受託事業

(1) 生きがい活動支援通所事業（市から受託）

・実利用者数

	堀之内	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	計	前年度
4月	0人	0人	0人	0人	0人	0人	68人
5月	0人	0人	0人	0人	0人	0人	61人
6月	11人	9人	19人	8人	2人	49人	58人
7月	10人	8人	18人	8人	2人	46人	59人
8月	8人	8人	17人	8人	2人	43人	58人
9月	11人	8人	16人	8人	2人	45人	58人
10月	11人	8人	17人	10人	4人	50人	59人
11月	12人	9人	14人	11人	4人	50人	52人
12月	11人	9人	16人	11人	4人	51人	50人
1月	9人	10人	16人	8人	2人	45人	50人
2月	7人	10人	15人	8人	2人	42人	51人
3月	6人	10人	17人	7人	1人	41人	0人

【事業の成果】

新型コロナウイルスの感染防止策に伴い、実施主体の指示に従い、5月31日まで事業活動を中止しました。その後、感染予防策を講じながら介護予防の一環として事業を開始しましたが、前年度に比べ利用者は減少傾向です。利用者減の要因は、介護保険制度への移行や事業の周知不足、利用者のサービス利用の自粛等があげられます

【今後の課題】

介護予防の必要性が高まっている中、利用者は年々減少傾向にあります。実施主体の支援と事業周知に強化を図るため、関係者間での協議・検討を進めていきます。

公益受託事業

単位:円

科 目	生きがい活動		
	予算	決算	差異
受託金収入	13,500,000	12,346,257	1,153,743
その他の事業収入	0	55,710	△ 55,710
事業活動収入計 (1)	13,500,000	12,401,967	1,098,033
人件費支出	7,942,000	7,920,342	21,658
事業費支出	5,325,000	4,295,353	1,029,647
事務費支出	233,000	182,480	50,520
事業活動支出計 (2)	13,500,000	12,398,175	1,101,825
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	3,792	△ 3,792
事業区分間繰入金収入	1,150,000	0	1,150,000
その他の活動収入 計 (7)	1,150,000	0	1,150,000
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	1,150,000	0	1,150,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(9)-(10)	1,150,000	3,792	1,146,208

(2) 介護用品支給事業（市から受託）

① 家族介護継続支援事業 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合 計	前年度
4月	34人	41人	27人	35人	16人	3人	156人	266人
5月	71人	107人	50人	92人	42人	20人	382人	374人
6月	77人	103人	51人	110人	40人	18人	399人	377人
7月	71人	95人	45人	99人	47人	18人	375人	407人
8月	75人	105人	52人	96人	38人	19人	385人	378人
9月	81人	112人	46人	92人	50人	14人	395人	408人
10月	84人	101人	42人	90人	50人	22人	389人	398人
11月	79人	116人	47人	95人	46人	17人	400人	388人
12月	83人	117人	50人	99人	52人	22人	423人	441人
1月	81人	104人	47人	89人	44人	13人	378人	391人
2月	77人	103人	59人	93人	44人	20人	396人	420人
3月	93人	128人	61人	112人	53人	24人	471人	490人

② 家族介護用品支給事業 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合 計	前年度
4月	0人	4人	1人	0人	0人	0人	5人	9人
5月	1人	5人	1人	0人	0人	1人	8人	8人
6月	1人	5人	1人	0人	0人	0人	7人	10人
7月	2人	4人	1人	0人	0人	1人	8人	9人
8月	2人	5人	1人	0人	0人	1人	9人	9人
9月	2人	4人	0人	1人	0人	1人	8人	9人
10月	4人	4人	0人	1人	0人	1人	10人	8人
11月	4人	3人	0人	0人	1人	0人	8人	10人
12月	4人	5人	0人	1人	0人	0人	10人	11人
1月	3人	4人	0人	0人	0人	1人	8人	10人
2月	4人	2人	0人	1人	1人	0人	8人	9人
3月	4人	5人	1人	1人	1人	1人	13人	11人

【事業の成果】

在宅の寝たきり高齢者、身体障害者手帳1・2級所持者で介護が必要な人に対し、給付券により介護用品の支給を行いました。また、民生委員経由で給付券を毎月配布し、利用者の状況把握にも努めました。

【今後の課題】

支援を必要とする対象者の実数を把握することは困難ですが、在宅で介護をされている家族に対する支援策として、民生委員や関係機関等と連絡を取りながら、引き続き事業展開をしていきます。

公益受託事業

単位：円

科 目	介護用品支給		
	予算	決算	差異
受託金収入	21,822,000	20,666,075	1,155,925
事業活動収入計 (1)	21,822,000	20,666,075	1,155,925
人件費支出	1,890,000	1,350,000	540,000
事業費支出	19,832,000	18,854,336	977,664
事務費支出	100,000	81,000	19,000
事業活動支出計 (2)	21,822,000	20,285,336	1,536,664
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	380,739	△ 380,739
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	380,739	△ 380,739

(3) 生活支援コーディネート事業（市から受託）

地域コーディネーターを配置し、行政主導で設置する協議体と連携しながら、地域における生活支援や介護予防活動等の推進を図りました。市内の現状把握、調査、福祉関係機関等とのネットワーク作り等を重点的に推進しました。

① 地域コーディネーターの配置

ア 生活支援サービス等の社会資源情報の作成

- a 地域カルテと社会資源マップの作成・活用・更新を行った。
- b コミュニティ協議会単位での分析を行った。

イ 関係者のネットワーク化

a まちかど脳トレ

堀之内中学生が作成した脳トレ問題を、堀之内商工会と協力を行い、地区商店街の店舗前に設置した（7月4日から7月14日）。

b 笑顔いっぱいプロジェクト（6月）

市内小学校（9校）の児童（452人）が絵手紙を作成し、見守りや安否確認が必要な高齢者や障害者等に応援メッセージを届けました。

c 買い物資源リスト（500部）作成

小出商工会と協力を、高齢者支援を目的とした買い物資源リストの情報収集を行った。

d うおぬまケーブルテレビの活用（堀之内地域）

ケーブルテレビを活用し、高齢者向けの運動や福祉団体の活動等を発信した。

放映期間	内 容	協力団体
5月13日～19日	地域の支え合いについて	
6月17日～23日	頭の体操「脳トレ」	中学生
7月 8日～14日	笑顔いっぱいプロジェクト	小学生、ボランティア 配食利用者
8月19日～25日	元気づくりサポーター「脳トレ」	元気づくりサポーター
9月23日～29日	元気づくりサポーター「軽体操」	元気づくりサポーター
10月21日～27日	地域の茶の間	城下はつらつ会
11月18日～24日	魚沼音声訳の会 活動紹介	ボランティア、利用者
12月16日～22日	あいほうし隊 活動紹介	
1月27日～2月2日	民生委員・児童委員について	民生委員・児童委員
3月17日～23日	堀之内ボランティアの会 活動紹介	ボランティア

e 厚生労働大臣が定める回数及び訪問介護の検証会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	6月10日	・事例経過について	市役所本庁舎
第2回	7月 8日	・ケアプランの確認について ・届け出があった場合の進め方について ・居宅への周知について	市役所本庁舎

第3回	9月 9日	・「厚生労働大臣が定める回数及び訪問介護の取扱い」について（報告） ・魚沼市の介護保険の現状について	市役所本庁舎
第4回	10月22日	・「厚生労働大臣が定める回数及び訪問介護の取扱い」について（報告） ・魚沼市の訪問介護サービスの利用状況について	市役所本庁舎
第5回	2月 1日	・自立支援につながる事業について	市役所本庁舎
第6回	3月19日	・生きがいデイサービスを活用した事業について	市役所本庁舎

f 元気づくり実行委員会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	9月28日	・新型コロナウイルスに対応した元気づくり ・元気づくり実行委員会の継続について	小出ボランティアセンター
第2回	2月11日	・新型コロナウイルスに対応した元気づくり ・コロナ禍における健康・元気づくり作文の募集について	小出ボランティアセンター

ウ 地域コーディネーター担当者会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月 9日	・今年度の事業計画、方向性について ・事業の見直しについて	小出ボランティアセンター
第2回	5月12日	・年間目標について ・事業の見直しについて	小出ボランティアセンター
第3回	6月 9日	・事業の見直しについて ・生活支援サービスの取り組みについて	小出ボランティアセンター
第4回	7月14日	・四半期事業評価について ・買い物資源リストについて	小出ボランティアセンター
第5回	8月11日	・あいほうし隊の活動について ・地域カルテについて	小出ボランティアセンター
第6回	9月 8日	・地域分析における進め方について ・地域カルテについて	小出ボランティアセンター
第7回	10月13日	・令和2年度上半期の現状と下半期に向けた取り組みについて	小出ボランティアセンター
第8回	11月10日	・支え合いマップづくり（振り返り） ・意見交換	小出ボランティアセンター
第9回	12月 8日	・研修「令和2年度生活支援コーディネーター研究協議会」 ・次年度事業について	小出ボランティアセンター

第10回	2月 9日	・ボランティアスクール、福祉学習について ・生活支援コーディネート事業について	小出ボランティアセンター
第11回	3月 9日	・ボランティアスクール、福祉学習について ・福祉協力員について	小出ボランティアセンター

② 支え合い活動の担い手養成

ア 元気づくりサポーターの派遣

ａ 元気づくりサポーターの派遣に係る打合せ

	期 日	内 容	開催場所
第1回	7月29日	・大白川運動教室実施について ・話し合い（日時、当番、内容等） ・関係書類について	小出ボランティアセンター

ｂ 元気づくりサポーターの派遣（大白川運動教室）

	期 日	開催場所	参加者
第1回	9月 1日	山菜会館	6人
第2回	9月 8日	山菜会館	2人
第3回	9月15日	山菜会館	4人
第4回	9月29日	山菜会館	2人
第5回	10月 6日	山菜会館	3人
第6回	10月13日	山菜会館	3人
第7回	10月20日	山菜会館	2人
第8回	10月27日	山菜会館	1人
第9回	11月10日	山菜会館	0人

ｃ 元気づくりサポーターの派遣（脳はつらつ教室）

	期 日	開催場所	参加者
第1回	12月 2日	和田集落センター	7人
第2回	12月 4日	雁坂下区コミュニティセンター	9人
第3回	12月 7日	婦人の家	11人
第4回	12月 8日	小出公民館	12人
第5回	12月16日	大浦集落センター	7人
第6回	12月16日	山田構造改善センター	7人
第7回	12月17日	親柄センター	8人
第8回	1月 6日	和田集落センター	8人
第9回	1月 8日	雁坂下区コミュニティセンター	8人
第10回	1月13日	山田構造改善センター	6人
第11回	1月18日	青島婦人の家	9人
第12回	1月19日	小出公民館	9人
第13回	1月21日	親柄センター	9人

第14回	1月28日	大浦集落センター	6人
第15回	2月1日	青島婦人の家	8人
第16回	2月3日	和田集落センター	6人
第17回	2月5日	雁坂下区コミュニティセンター	9人
第18回	2月10日	山田構造改善センター	4人
第19回	2月16日	小出公民館	11人
第20回	2月18日	親柄センター	8人
第21回	2月18日	大浦集落センター	6人
第22回	3月3日	和田集落センター	6人
第23回	3月5日	雁坂下区コミュニティセンター	8人
第24回	3月8日	青島婦人の家	8人
第25回	3月10日	山田構造改善センター	6人
第26回	3月16日	小出公民館	13人
第27回	3月18日	親柄センター	2人
第28回	3月25日	大浦集落センター	6人

イ 元気づくりサポーターフォローアップ研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、フォローアップ研修を中止することとした。

ウ 元気づくりサポーター座談会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	11月6日	・概要説明 ・情報交換	小出ボランティアセンター

③ 協議体との連携

ア 協議体への参加・協力

	期 日	内 容	開催場所
第1回	8月19日	・生活支援体制整備事業の進捗状況報告	市役所本庁舎
第2回	2月17日	・生活支援体制整備事業の進捗状況報告	市役所本庁舎

イ 生活支援コーディネート事業検討会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	6月16日	・地域資源マップの進捗状況 ・協議体について ・元気づくりサポーターの活動について ・介護予防、生活支援サービス事業の訪問型サービスBについて	市役所本庁舎

【事業の成果】

コロナ禍においても地域における生活支援や介護予防活動等を推進するため、市内の小中学校、商工会等と連携・協力を行い、まちかど脳トレや笑顔いっぱいプロジェクト等の取り組みを展開し、関係者間のネットワーク化を図りました。

【今後の課題】

単身高齢者が増加し、軽度な支援を必要とする方が増加する中、買い物資源リスト等の作成を行い、地域資源の見える化を行います。また、支え合い活動の担い手である元気づくりサポーターの派遣を行い、地域住民の健康保持と介護予防の充実を図ります。

公益受託事業

単位：円

科 目	生活支援コーディネート		
	予算	決算	差異
受託金収入	5,076,000	5,076,000	0
事業活動収入計 (1)	5,076,000	5,076,000	0
人件費支出	4,887,000	4,532,000	355,000
事業費支出	877,000	729,164	147,836
事務費支出	40,000	45,100	△ 5,100
事業活動支出計 (2)	5,804,000	5,306,264	497,736
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 728,000	△ 230,264	△ 497,736
事業区分間繰入金収入	728,000	230,264	497,736
その他の活動収入 計 (7)	728,000	230,264	497,736
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	728,000	230,264	497,736
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(4) 軽度生活支援事業（市から受託）

自立した在宅生活の継続を図るため、在宅で日常生活上の援助を必要とする、概ね65歳以上の高齢者世帯等に対して、軽易な日常生活上の援助を行いました。

利用者数、派遣回数はそれぞれ前年比△19%、△16%でした。

① 生活援助事業（訪問介護事業所）

	本拠地			守門・入広瀬			全体		
	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
利用者数	156	179	△ 23	37	59	△ 22	193	238	△ 45
派遣回数	579	651	△ 72	114	177	△ 63	693	828	△ 135
派遣時間	512.0	568.0	△ 56.0	112.0	171.0	△ 59.0	624	739	△ 115.0

【事業の成果】

介護保険を利用するほどではなく、軽易な日常生活の支援があれば現状を維持できる方に、在宅生活の継続を図るためヘルパーが訪問することで、状態の維持を保つことが出来ました。

【今後の課題】

現状を維持しながら在宅生活が継続できるように、自立支援、重度化防止に向けた取り組みを継続していきます。

② 除雪援助事業

ア 利用実績

地 区	利用件数		合 計	前年度利用件数		合 計
	屋根雪	門払い		屋根雪	門払い	
堀之内	19 件	21 件	40 件	2 件	13 件	15 件
小出	16 件	17 件	33 件	0 件	8 件	8 件
湯之谷	17 件	21 件	38 件	2 件	11 件	13 件
広神	12 件	24 件	36 件	0 件	11 件	11 件
守門	25 件	42 件	67 件	4 件	32 件	36 件
入広瀬	13 件	22 件	35 件	5 件	16 件	21 件
合 計	102 件	147 件	249 件	13 件	91 件	104 件

イ 個人作業登録者数

地 区	登録者数		合 計	前年度登録者数		合 計
	屋根雪	門払い		屋根雪	門払い	
堀之内	17 件	18 件	35 件	16 件	16 件	32 件
小 出	20 件	15 件	35 件	16 件	12 件	28 件
湯之谷	14 件	26 件	40 件	13 件	22 件	35 件
広 神	16 件	23 件	39 件	16 件	20 件	36 件
守 門	25 件	40 件	65 件	28 件	33 件	61 件
入広瀬	11 件	15 件	26 件	12 件	16 件	28 件

市 外	2 件	1 件	3 件	0 件	0 件	0 件
合 計	105 件	138 件	243 件	101 件	119 件	220 件

【事業の成果】

高齢者世帯等を対象に、在宅における自立した生活の継続のため、日用品等の買い物や家屋内の整理整頓及び除雪などの日常生活上の支援を行いました。

【今後の課題】

生活援助事業では、ヘルパーの人材確保が困難な状況もあり、実施主体と引き続き検討を進めていきます。また、除雪援助事業については、降雪量によりサービスの需給に影響が生じるため、大雪時でも対応が出来るよう、除雪作業員の人材確保に向け、関係機関と調整を図ります。

公益受託事業

単位:円

科 目	除雪援助			生活介護			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	17,500,000	14,071,244	3,428,756	1,704,000	1,621,152	82,848	19,204,000	15,692,396	3,511,604
事業活動収入計 (1)	17,500,000	14,071,244	3,428,756	1,704,000	1,621,152	82,848	19,204,000	15,692,396	3,511,604
人件費支出	16,593,000	12,309,099	4,283,901	1,704,000	1,621,152	82,848	18,297,000	13,930,251	4,366,749
事業費支出	607,000	509,531	97,469	0	0	0	607,000	509,531	97,469
事務費支出	300,000	300,000	0	0	0	0	300,000	300,000	0
事業活動支出計 (2)	17,500,000	13,118,630	4,381,370	1,704,000	1,621,152	82,848	19,204,000	14,739,782	4,464,218
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	952,614	△ 952,614	0	0	0	0	952,614	△ 952,614
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	952,614	△ 952,614	0	0	0	0	952,614	△ 952,614

Ⅲ. 収益事業

1. 会館運営事業

会館の利用許可及び施設の維持管理に関する業務を行いました。

(1) 小出ボランティアセンター

貸館の状況は、Ⅱ 公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

(2) 広神老人福祉センター

貸館の状況は、Ⅱ 公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

(3) 守門健康センター

貸館の状況は、Ⅱ 公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

【事業の成果】

『Ⅱ. 公益事業』、『2. 指定管理施設運営事業』に記載。

【今後の課題】

『Ⅱ. 公益事業』、『2. 指定管理施設運営事業』に記載。

会館運営事業

科 目	小出ボランティアセンター			広神老人福祉センター			守門健康センター		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
事業収入	808,000	549,860	258,140	1,000	0	1,000	31,000	18,300	12,700
その他の事業収入	2,000	0	2,000	0	0	0	0	0	0
事業活動収入計 (1)	810,000	549,860	260,140	1,000	0	1,000	31,000	18,300	12,700
事業費支出	778,000	517,860	260,140	1,000	0	1,000	31,000	18,300	12,700
事務費支出	32,000	32,000	0	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計 (2)	810,000	549,860	260,140	1,000	0	1,000	31,000	18,300	12,700
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

会館運営事業

単位:円

科 目	計		
	予算	決算	差異
事業収入	840,000	568,160	271,840
その他の事業収入	2,000	0	2,000
事業活動収入計 (1)	842,000	568,160	273,840
事業費支出	810,000	536,160	273,840
事務費支出	32,000	32,000	0
事業活動支出計 (2)	842,000	568,160	273,840
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

【資 料 編】

1. 会 員

- ・会員数 一般会員 8,518 人 (8,787 口) 特別会員 342 人 (1,124 口)
- ・会 費 一般会員 一口 1,000 円 特別会員一口 1,000 円

2. 役員・評議員・委員会・部会

(1) 役員（理事6名以上 13 名以内・監事 2 名以内）

任 期 令和元年 6 月 14 日～令和 3 年 6 月定時評議員会終結の時まで

役職名	氏 名	選 出 区 域 等	備 考
会 長	穴沢 邦男	魚沼市内区域	地域の代表
副会長	八木 兵司	魚沼市内区域	地域の代表
副会長	林 悦子	魚沼市内区域	地域の代表
理 事	津山 幸男	魚沼市内区域	地域の代表
理 事	高橋 由子	魚沼市内社会福祉法人	魚沼更生福祉会湯之谷工芸
理 事	関間 信好	魚沼市内社会福祉法人	魚沼福祉会寿和ホーム
理 事	高橋 富栄	地域の福祉団体	魚沼市民生委員児童委員協議会 令和 2 年 1 月 18 日から
理 事	森山 正昭	地域の団体	中央公民館館長
理 事	小島 勉	行政職員	魚沼市福祉支援課長
監 事	瀧澤 博忠	学識経験者	
監 事	滝澤 直行	計算書類を監査し得る者	

(2) 評議員（7 名以上 20 名以内）

任 期 平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月度定時評議員会終結の時まで

氏 名	区域、所属機関団体等	備 考
下村 真由美	学識経験者	令和元年 5 月 31 日から
滝沢 茂	学識経験者	平成 30 年 4 月 1 日から
山本 虎三	学識経験者	平成 30 年 4 月 1 日から
小林 進	学識経験者	平成 30 年 4 月 1 日から
三友 武久	学識経験者	平成 30 年 4 月 1 日から
酒井 豊	広神地区区長会	
桜井 昭	広神地区区長会	
佐藤 勝永	守門地区連合自治会長会	
住安 正信	学識経験者	
和久井 善之	新潟県司法書士会	
小川 茂	地域の経済団体	

山之内 伸一朗	魚沼市老人クラブ連合会	令和元年9月2日から
角屋 昌子	魚沼市食生活推進協議会	
桜井 忍	魚沼市ボランティア連絡協議会	平成30年4月1日から 令和2年6月14日まで
小笠原 都々子	魚沼市ボランティア連絡協議会	令和2年10月6日から

(3) 委員会、部会

① 企画調整委員会

任 期 令和元年6月14日～令和3年6月定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏 名	備 考
委 員	穴沢 邦男	
委 員	八木 兵司	
委 員	林 悦子	

② 評議員選任・解任委員会（4名）

任 期 平成29年3月7日～令和2年6月定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏 名	備 考
委 員	佐藤 ひろみ	令和元年5月30日から
委 員 長	大淵 好文	令和元年5月30日から
委 員	瀧澤 博忠	令和元年6月14日から
委 員	下村 耕平	

③ 生活福祉資金貸付調査委員会委員（8名）

任 期 平成30年6月1日～令和2年5月31日

令和2年6月1日～令和4年5月31日

役職名	氏 名	役職、所属機関団体等	備 考
委 員 長	佐藤 ムツエ	湯之谷地区民児協	
委 員	関 誠	堀之内地区民児協	令和元年12月1日から
委 員	鈴木 虚子	小出地区民児協	令和元年12月1日から
委 員	山本 恵子	広神地区民児協	
委 員	齋藤 松永	守門地区民児協	令和元年12月1日から
委 員	佐藤 ミツイ	入広瀬地区民児協	令和元年12月1日から
委 員	坂大 聡	市福祉支援課	
委 員	下村 耕平	市社会福祉協議会	

④ 第三者委員（3名）

任 期 令和2年6月1日～令和4年5月31日

氏 名	役職、所属機関団体等	備 考
和久井 善之	本会評議員	
瀧澤 博忠	本会監事	
青 木 悟	学識経験者	

⑤ 法人後見事業運営委員会委員（7名）

任 期 平成31年4月1日～令和3年3月31日

役職名	氏 名	所 属	備 考
委 員 長	黒岩 海映	新潟県弁護士会 高齢者・障害者の財産管理・権利擁護支援センター	弁護士
副委員長	枝村 英一	公益社団法人 新潟県社会福祉士会	社会福祉士
委 員	関 丈 祐	成年後見センター リーガルサポート新潟県支部	司法書士
委 員	稲 月 原	小千谷市魚沼市医師会	医師
委 員	小島 勉	魚沼市福祉支援課	課長 平成31年4月1日から
委 員	吉田 淳	魚沼市介護福祉課	課長 平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで
委 員	戸田 千穂子	魚沼市介護福祉課	課長 令和2年4月1日から

3. 職員

（令和3年3月末現在 151人 内訳 職員・准職員75人、臨時職員等76人）

・事務局長	1人	・居宅介護支援部門	9人
・総務課	6人	・通所介護部門	62人
・地域福祉課	27人	・訪問介護部門	26人
・介護福祉課	2人	・受託事業部門	18人

4. 会議

(1) 理事会

	期 日	議案内容等	会 場
第1回	5月27日	(書面議決) ・会長諸報告、会長専決事項の報告 ・令和元年度会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業報告及び令和元年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収支決算の承認について ・定時評議員会の招集について	小出ボランティアセンター
第2回	9月4日	・会長諸報告、会長専決事項の報告 ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事務局移転及び組織機構の再編について	小出ボランティアセンター
第3回	10月5日	・会長諸報告、会長専決事項の報告 ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事務局移転及び組織機構の再編について	小出ボランティアセンター
第4回	11月26日	(書面議決) ・会長諸報告、会長専決事項の報告 ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算(第1次)(案)の同意について ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会臨時評議員会の招集について	小出ボランティアセンター
第5回	2月12日	・会長諸報告、会長専決事項の報告 ・福祉団体・ボランティア団体等との社協在り方などの議論の進め方について	小出ボランティアセンター
第6回	3月18日	・会長諸報告、会長専決事項の報告 ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算(第2次)について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会定款の一部変更について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業計画(案)及び令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出予算(案)について ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会臨時評議員会の招集について	小出ボランティアセンター

(2) 評議員会

	期 日	議案内容等	会 場
定時	6 月 14 日	(書面議決) ・令和元年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業報告及び令和元年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出決算の承認について	小出ボランティアセンター
第1回 臨時	12 月 4 日	(書面議決) ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算(第1次)(案)について	小出ボランティアセンター
第2回 臨時	3 月 29 日	・会長諸報告 ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会会費収納状況について ・令和2年度県共同募金会魚沼市共同募金委員会募金運動実績について ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算(第2次)について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会定款の一部変更について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業計画(案)及び令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出予算(案)について	小出ボランティアセンター

(3) 委員会・部会

① 企画調整委員会

	期 日	内 容	会 場
第1回	5 月 19 日	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う理事会・評議員会の開催について ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会会費の取りまとめについて ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事会案について	小出ボランティアセンター
第2回	6 月 24 日	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の影響について ・組織機構の検討について	小出ボランティアセンター
第3回	8 月 27 日	・社協事務局移転に伴う地区民児協説明会について	小出ボランティアセンター

		・第2回理事会議案について	
第4回	10月 1日	・社協事務局移転に伴う説明会について ・特定非営利活動法人うおぬま防災ネットワークへの加入について	小出ボランティアセンター
第5回	10月 8日	・10月5日理事会議論の整理について ・市長との面談の整理について ・今後の対応、検討について	小出ボランティアセンター
第6回	11月18日	・第4回理事会議案について	小出ボランティアセンター
第7回	12月17日	・魚沼市社会福祉協議会の事務所の位置を考える会との懇談及び事前・事後打合せ会	小出ボランティアセンター
第8回	1月 7日	・小出ボランティアセンター・広神老人福祉センター指定管理申請に伴う、指定管理期間と事務局移転（集約）の考え方・スケジュールについて	小出ボランティアセンター
第9回	2月 5日	・第5回理事会議案について ・令和3年度組織機構・職員体制について	小出ボランティアセンター
第10回	3月11日	・第6回理事会議案について ・役員・評議員改選日程等について ・令和3年度会議等日程について	小出ボランティアセンター
第11回	3月29日	・理事等選出区分について	小出ボランティアセンター

② 評議員選任・解任委員会

	期 日	内 容	会 場
第1回	10月6日	・魚沼市社会福祉協議会評議員の選任について	小出ボランティアセンター

5. 組織機構図

